梨害虫ニ関スル調査

昭和二年度

第四報

静岡縣農事試驗場

14. 2イ-596イ
1200501162682
21
596イ

始

昭和二年度

梨害蟲ニ關スル調査

（第四報）

靜岡縣立農事試驗場

昭和四年二月

緒言

本縣農事試驗場ハ梨姫心喰蟲ニ關シ、大正九年ヨリ富士郡加島村ニ研究所ヲ設置シ、各種ノ試驗調査ヲ續行シ頗顯著ナル成績ヲ擧ゲ得タルヲ以テ、更ニ進ンデ昭和二年度ヨリ梨ノ一般病蟲害ニ關スル研究ニ着手シ、同時ニ從來ノ「梨姫心喰蟲研究所」ナル名稱ヲモ「梨病害蟲研究所」ト改稱スルニ至レリ。本報告ハ右昭和二年度ニ於ケル技手矢後正俊ノ研究成績ヲ輯錄セルモノニシテ、未ダ完結ニ至ラザルモノ多キモ、之ヲ既刊ノ報告ト比較對照セバ害蟲驅除豫防上稗益スルトコロ多大ナルベキヲ信ジ、爰ニ公表シテ梨業者ノ參考ニ資セントス。

昭和四年二月

場長　高石政次郎

14.24.596

凡例

一、砒酸鉛、かぜいん石灰ハ斷リナキ時ハ〈〉製ヲ使用セリ。

一、硫酸にこちんハ斷リナキ時ハぶらつく・りーふ四〇ヲ使用セリ。

一、石鹼ハあでか農藝石鹼ヲ使用セリ。

一、室内實驗ニハ總テ井水ヲ使用セリ。

試驗並ニ調査ニ際シ指導ヲ賜リタル農林省農事試驗場昆蟲部木下技師並ニ實驗上助力ヲ得タル海野惣一郎氏ニ對シ深ク感謝ス。

目次

甲　梨姫心喰蟲ニ關スル試驗……一頁
一　藥劑ニ關スル試驗……一
(一)　藥劑撒布試驗……一
(二)　藥劑撒布又ハ撒粉ノ効力並ニ經濟ニ關スル比較試驗……五
二　袋掛ニ關スル試驗……九
(一)　袋ノ種類ニ關スル試驗……九
(二)　袋ノ耐久力ニ關スル試驗……一五
(三)　袋掛ノ梨果發育ニ及ボス影響試驗……一七
(四)　袋掛ノ効力並ニ經濟關係比較……一八
三　適餌植物トノ關係……二二
(一)　各種被害植物ニ對スル嗜好性試驗……二二
四　捲附法ニ關スル試驗……二四
五　燻煙試驗……二九
六　食餌誘殺ニ關スル試驗……三〇
(一)　食餌ノ種類ニ關スル試驗……三〇

(二) 食餌ノ濃度ニ關スル試驗……四二
(三) 食餌用容器ニ關スル試驗……四八
(四) 毒劑加用ニ關スル試驗……五六
(五) 長期利用ニ關スル試驗……五八
(六) 天候並ニ期節ト誘殺數……五八
(七) 食餌誘殺ノ効力……五九
乙 梨葉捲蟲ニ關スル試驗……六四
(一) 梨葉捲蟲殺卵試驗……六四
丙 農用藥劑ニ關スル試驗……六七
一 砒酸鉛ニ關スル試驗……六七
(一) 撒粉ニ關スル試驗……六七
(イ) 附加劑ノ種類ト効力ニ關スル試驗……六七
(ロ) 附着力ニ關スル試驗……七四
(ハ) 粉劑並液劑ノ効力比較試驗……七六
(ニ) 砒酸鉛ニ加用スル石灰量ト殺蟲力ニ關スル試驗……七八
二 弗化硅酸曹達ニ關スル試驗……八二
(一) 毒劑並ニ接觸劑トシテノ効力……八二
(二) 附加劑ノ種類ニ關スル試驗……八三
(三) 附加劑ノ附着力ニ關スル觀察……九四
(四) 濃度ニ關スル試驗……九四
(五) 藥害ニ關スル試驗……一〇七
(六) 蝗ニ對スル毒餌試驗……一一〇
三 石鹼ニ關スル試驗……一一二
(一) 流動石鹼ノ効力試驗……一一二
(二) 小西農藝石鹼効力試驗……一一四
四 液體ねおとんニ關スル試驗……一一五
五 除蟲菊劑ニ關スル試驗……一一七
(一) 除蟲菊粉劑ノ附加劑ノ種類ト効力トノ關係……一一七
(二) みづほ殺蟲劑効力試驗……一一九
(三) 山本氏べれとろん効力試驗……一二〇
六 さぽにんノ効力試驗……一二一
七 乳劑類ニ關スル試驗……一二三
(一) 効力ニ關スル試驗……一二三
(二) 藥害ニ關スル試驗……一三三

露光量違いの為重複撮影

梨害蟲ノ部

附錄……一四一
一　縣下ニ於ケル昭和二年度梨姫心喰蟲被害程度其他……一四一
二　氣象略表……一四四

露光量違いの為重複撮影

梨害蟲ノ部

附錄……一四一
一　縣下ニ於ケル昭和二年度梨姫心喰蟲被害程度其他……一四一
二　氣象略表……一四四

梨害蟲ニ關スル調査

甲　梨姫心喰蟲ニ關スル試驗

一、藥劑ニ關スル試驗

（一）藥劑撒布試驗

目的　各種藥劑ノ効力並ニ適當ナル撒布距離ヲ知ラントス。

方法　前年度ニ準ズ。

成績（其ノ二）　供試品種　長十郎

區名	藥劑名	藥劑配合量	撒布距離	採收當時 一區本數	採收當時 健全果 重量	採收當時 健全果 個數	採收當時 被害果 重量	採收當時 被害果 個數	採收當時 被害歩合	收穫前被害果數	全被害果個數	全被害歩合	順位
1	砒酸鉛Aだすと	砒酸鉛 白土 九五 五五	七月七日迄十五日 七月八日以降十三日	七	一三二、三三八	五二〇	三八、八九〇	五八二	五二、八二	一六六	七四八	五八、九九	6
2	砒酸鉛Bだすと	砒酸鉛 硫黄華 白土 一五五 八〇	同	五	一七、〇四八	二五六	二九、〇五〇	三九〇	六〇、三七	九三	四八三	六五、三六	7
3	砒酸鉛Aだすとにこちんだすと	1區ト同 5區ト同	同	七	一五、六一〇	二三九	八一、〇九〇	一、三二二	八五、二四	二四	一、四五六	八二、九五	14
4	砒酸石灰だすと	砒酸石灰 消石灰 九五	同	七	一八、三九〇	二八一	六四、三八〇	一、〇二七	七八、五三	二二七	一、二五四	八二、六九	12

5	にこちんだすと	硫酸にこちん消石灰	一%	同	七・二七、七七〇	二六三	五六、八一〇	八六九	七六、七七	二六三	一、一三一	八一、一三	10
6	煙草だすと	粉煙草	三貫	同	七・二一、五七〇	一七二	五二、五三〇	九五四	八四、七三	三三八	一、二八二	八八、一七	16
7	砒酸鉛石灰液	砒酸鉛生石灰かぜいん石灰	一八〇匁 一八〇匁 三〇匁	十五日	六・六七、九八〇	一、〇三七	一六、一一〇	二四八	一九、二九	二三	二七一	二〇、七二	1
8	砒酸石灰液	砒酸石灰生石灰かぜいん石灰	一三〇匁 一三〇匁 三〇匁	同	六・四二、一一〇	五九九	二七、八六〇	三九三	三九、六一	二七	四三〇	四一、三二	2
9	砒酸鉛石灰液 硫酸にこちん石鹸液	7区ト同 11区ト同		七月七日迄 七月八日以降 十五日	一四・八六、二五〇	一、二四二	一〇一、八一〇	一、七〇九	五六、〇二	一〇二	一、八一一	五七、四四	3
10	同	硫酸にこちん石鹸	一合	七月七日迄 七月八日以降 十五日	一五・八八、三五七	一、二九三	五四、八五〇	九五七	四〇、七二	一二一	一、〇七八	四三、六三	4
11	硫酸にこちん石鹸液	硫酸にこちん石鹸	二四〇匁	同	七・五六、六八〇	七三五	一〇、六五〇	六八五	四八、二四	四七	七三一	四九、九〇	4
12	同	同		十五日	七・二八、九二〇	四二〇	五二、八七〇	七九七	六五、四九	八八	八八五	六七、八二	8
13	れおとん石鹸液	れおとん石鹸	六〇匁 一二〇匁	同	七・二一、五四〇	一六七	四六、四三〇	七二三	八一、二四	二四六	九六九	八五、三〇	13
14	除蟲菊石鹸液	除蟲菊石鹸	二〇〇匁 二四〇匁	同	七・一七、三六〇	二三九	四六、一四〇	七二五	七五、七四	三〇五	一、〇三〇	八一、六六	11
15	うえのところん石鹸液	うえのところん石鹸	一八〇瓦 二四〇匁	同	四 七、九二〇	一五三	二四、五六〇	四〇一	七二、三八	七〇	四七一	七五、四九	9
16	標準区	無撒布			七 一一、九五七	一六三	五二、二四〇	八二五	八三、三三	三一九	一、一三四	八七、四三	15

（第一表）

附記　砒酸鉛ABだすとハ始メノ撒布二回迄ハ白土ノ代リ消石灰ヲ使用セリ。

撒布及果實採收月日次ノ如シ。

区別	撒布月日	採收月日
1	四月二二、五月八、七・七、七・一九、五・二三、六・七、七・三一、八・一二、六・二二、八・二四、	八月二四日、八・三一、九・四、
2	同右	同右
3	同右	八、二三 九、一 九、四
4	同右	1區ト同ジ
5	同右	3區ト同ジ
6	同右	同右
7	四・二二、五・八、七・七、七・二二、八・六、五・二三、六・七、八・二一、六・二二、	1區ト同ジ
8	同右	同右
9	同右	3區ト同ジ
10	1區ト同ジ	同右
11	同右	同右
12	7區ト同ジ	1區ト同ジ
13	同右	同右
14	同右	同右
15	同右	3區ト同ジ
16	無撒布	1區ト同ジ

本試驗ニ於テハ各區共昨年ヨリ藥害ヲ起スコト遲カリシ。

砒酸石灰、砒酸鉛區最モ藥害多ク特ニ砒酸石灰ハ砒酸鉛撒布區ヨリモ藥害多ク、被害ハ孰レモ葉ニ黑點ヲ呈セルモ砒酸石灰區ハ著シク果實ニ藥害ヲ生ゼリ。

成績（其ノ二）　供試品種　晩上花

區名	藥劑名	藥劑配合量	撒布距離	一區本數	健全果 重量	健全果 個數	被害果 重量	被害果 個數	被害歩合	順位
17	砒酸鉛Aだすと	砒酸鉛 白土 九五 五七	七月七日迄十五日 七月八日以降十二日	二	〇、三〇	六	一六、一五〇	四四四	九八、六六	4
18	砒酸石灰だすと	砒酸石灰 消石灰 九五	同	二	三〇	一	一四、六五〇	三二三	九九、六八	6
19	砒酸鉛石灰液	砒酸鉛 生石灰 かぜいん石灰 一八〇〇匁 一八〇〇匁 三〇〇匁	十五日	三	一、一〇〇	一九四	一九、六〇〇	四三〇	六八、二一	1
20	砒酸石灰液	砒酸石灰 生石灰 かぜいん石灰 一二〇〇匁 一二〇〇匁 三〇〇匁	同	三	二、二〇〇	六四	三九、二五〇	八四五	九二、九六	2
21	硫酸にこちん石鹸液	硫酸にこちん 石鹸 二四〇匁 一合	同	三	九五〇	一六	一七、八〇〇	四〇四	九六、一九	3
22	除蟲菊石鹸液	除蟲菊粉 石鹸 二〇〇匁 二四〇〇匁	同	二	〇	〇	九、六五〇	二三一	一〇〇、〇〇	7
23	ねおとん石鹸液	ねおとん 石鹸 六〇〇匁 一二〇〇匁	同	二	三〇	一	八、五八〇	一八六	九九、四六	5
24	標準區		不設	—	—	—	—	—	—	—

附記　砒酸鉛Aだすと區ハ始メノ撒布二回迄ハ白土ノ代リ消石灰ヲ使用セリ。

藥劑撒布及果實採收月日次表ノ通リ。

（第二表）

	區別	撒布月日	採收月日
17		四月二二日 五月八日 七月一九日 七月三一日 八月一二日 八月二四日	六月二二日 七月七日 九月二六日
18	同右		同右
19	同右	四月二二日 七月七日	同右
20	同右	五月八日 七月二二日	六月七日 八月二一日
21	同右	五月二三日 八月一二日	六月二二日 九月五日
22	同右	六月七日 八月二四日	七月七日
23	同右	同右	同右
24	—	—	—

本試驗ノ梨樹ニ對スル影響モ亦(其ノ一)ノ塲合ニ同ジ。

備考　七月十六日なしのみどりおほありまきノ驅除ニ除蟲菊石鹸ヲ試驗地全體ニ撒布セリ。

概評　從來ノ如ク砒酸鉛石灰液區成績最モ良ク、煙草だすと區最モ惡シ。

撒粉機ノ不完全ト露等少ナキタメ附着ノ惡シキ關係上撒粉區ハ撒布區ヨリ一般成績惡カリシ。

(二)　藥劑撒布又ハ撒粉ノ効力並ニ經濟ニ關スル比較試驗

目的　藥劑ノ効力ト經濟トノ關係ヲ知ラントス。

方法　藥劑ノ効力ニヨル增收ヨリ防除費ヲ差引キ且健全果百個ヲ採收スルニ要スル經費ヲ算出シテ比較セリ。

成績

區別	配合量及撒布距離	粉劑三匁、液劑一升ノ代價	一本一回宛總經費	一本當リ全防除費	被害歩合	健全果百個ニ付防除費	順位
1	砒酸鉛五(一五〇匁)七月七日迄十五日 白土九五(二貫八五〇匁)七月八日以降十二日	〇、八五錢	三、三七錢	(一〇)三三、七〇錢	五八、九九%	二七、三九錢	5

2	砒酸鉛	五（一五〇匁）	同右	〇、九四	三、五五	(一〇)	三五、五〇	六五、三六	三四、一三	7
	硫黄華	一五、（四五〇匁）								
	白土	八〇（二貫四〇〇匁）								
3	七月七日迄一區ト同ジ		同右	—	—	(一〇)	三八、〇二	八二、九五	七四、五五	12
	七月八日以降五區ト同ジ									
4	砒酸石灰五（一五〇匁）		同右	〇、五八	二、八三	(一〇)	二八、三〇	八一、六九	五一、四五	9
	消石灰九五（二貫八五〇匁）									
5	硫酸にこちん	二三五、七銭	同右	一、三九	四、四五	(一〇)	四四、五〇	八一、一三	七八、〇七	13
	消石灰	三貫目								
6	煙草粉	（三貫目）	同右	〇、八八	三、四三	(一〇)	三四、三〇	八八、一七	九八、〇〇	15
7	砒酸鉛	一八〇〇匁	十五日	一、二一	四、〇九	(九)	三六、八一	二〇、七二	一五、四七	2
	生石灰	三〇〇匁								
	かぜいん石灰									
8	砒酸石灰	一二〇〇匁	同右	〇、六五	二、九七	(九)	二六、七三	四一、二二	一五、一〇	1
	生石灰	三〇〇匁								
	かぜいん石灰									
9	七月七日迄七區ト同ジ		同右	—	—	(九)	三一、二一	五七、四四	二四、三八	3
	七月八日以降十一區ト同ジ									
10	七月七日迄七區ト同ジ		十五日	—	—	(一〇)	四四、三四	四三、六三	二六、二三	4
	七月八日以降十一區ト同ジ		十二日							
11	硫酸にこちん	一合	七月七日迄十五日	一、九四	四、九五	(一〇)	四九、五〇	四九、九〇	三三、〇〇	6
	石灰	二四〇匁	七月八日以降十二日							
12	同右		十五日	一、六四	四、九五	(九)	四四、五五	六九、八二	四五、九二	8
13	れおとん	六〇匁	同右	一、二七	四、二一	(九)	三七、八九	八五、三〇	八六、一一	14
	石灰	一二〇匁								
14	除蟲菊粉	二〇〇匁	同右	一、二四	四、一五	(九)	三七、三五	八一、六六	六七、九一	11
	石灰	二四〇匁								

15	うえのとろん	一八〇瓦	同右	一、四一	四、四九	(九)	四〇、四一	七五、四九	五四、六〇	10
	石灰	二四〇匁								
16	標準區	無・撒布		—	—		—	八七、四三	〇	

（第三表）

附記　薬剤撒布ハ反當リ男五分、女五分、使役薬剤ハ一本當リ二升、粉剤ハ四〇匁
一本ニ付三百個ハ假定、健全果ノ算出ハ四捨五入トス。

區名	一本當無害果數	効力ニ依ル増收果數	同上價額	一本當リ全防除費	一本當リ損益 損	一本當リ損益 益	順位
1	一二三個	八五個	一、五三〇円	三三、七〇錢	—	一、一九三〇円	6
2	一〇四	六六	一、一八八	三五、五〇	—	〇、八三三〇	7
3	五一	一三	〇、二三四	三八、〇二	〇、一四六二円	—	
4	五五	一七	〇、三〇六	二八、三〇	—	〇、〇二三〇	10
5	五七	一九	〇、三四二	四四、五〇	〇、一〇三〇	—	
6	三五	（一）三	〇、〇五四	三四、三〇	〇、二八九〇	—	
7	二三八	二〇〇	三、六〇〇	三六、八一	—	三、二三一九	1
8	一七六	一三八	二、四八四	二六、七三	—	二、二一六七	2
9	一二八	九〇	一、六二〇	三一、二一	—	一、三〇七九	5
10	一六九	一三一	二、三五八	四四、三四	—	一、九一四六	3
11	一五〇	一一二	二、〇一六	四九、五〇	—	一、五二一〇	4

12	九七	一、〇六二	四四、五五		〇、六一六五	8
13	四四	〇、一〇八	三七、八九	〇、二七〇九		
14	五五	〇、三〇六	三七、三五	〇、〇六七五		
15	七四	〇、六四八	四〇、四一		〇、二四三九	9
16	三八					11

附記　梨果ハ一個六十匁、一貫匁ニ付三十錢ニテ計算ス。
健全果ノ算出ハ四捨五入トス。

（第四表）

概評　健全果百個ヲ收穫スルニ要スル防除費ニ於テハ8、7、9區最モ良ク10、1區之ニ次グ。
損益計算ニ於テモ7、8、10區最モ良ク11、9區之ニ次グ。
効力ト經濟トノ關係ヲ對照スルトキハ砒酸鉛石灰液撒布區最モ有利經濟的方法ナルベシ。

（備考）

（イ）昭和二年度防除用林料品相場表

藥品名	容積	單價	備考
粉狀砒酸鉛	一封度	〇、七〇円（〇、六三——〇、八五円）	
硫酸にこちん	一〇封度	二八、〇〇（二六、〇〇—三〇、〇〇）	一封度便宜上二合トシテ計算セリ
生石灰	四貫匁	〇、七〇（〇、六五——〇、七〇）	
かぜいん石灰	一封度	〇、五〇（〇、四八——〇、五〇）	
除蟲菊粉	一封度	〇、六〇（〇、五〇——〇、六五）	
農藝石鹼	二五〇匁（一個）	〇、二五（〇、二五——〇、二七）	あでか農藝石鹼
ねおとん	一封度	二、三〇（二、一三——二、四〇）	
うえのとろん	六三〇瓦	五、六〇（九〇瓦—一、一〇 一八〇〇瓦—一三〇、〇〇）	六三〇瓦五圓六〇錢トシテ計算セリ
砒酸石灰	一封度	〇、五〇	
消石灰	一俵（七貫五百匁）	〇、六三	
硫黄華	一封度	〇、〇八五	
白土	一封度	〇、〇五	
煙草粉	一〇貫匁	四、四〇	

（）内ハ市場最高低單價ヲ示ス。

（ロ）勞銀

男	一日ニ付 一、五〇円
女	一日ニ付 一、〇〇

二、袋掛ニ關スル試驗

（一）袋ノ種類ニ關スル比較試驗

目的　各種ノ袋ノ効力ヲ比較セントス。

方法　數種ノ袋ヲ用ヒ之ヲ一回掛、二重掛ニ區別シ被害歩合ヲ調査セリ。

供試品種　長十郎

袋掛期日　六月二十八日
二重掛期日　八月十日
採收期日　九月六日

成績（其一）

袋ノ種類	健全果 重量	健全果 個數	被害果 重量	被害果 個數	被害歩合%	順位
一回掛ノ部						
荏油引新聞紙	一一、八七〇	二一一	一、六三〇	二八	一一、七一	1
同　はとろん紙	一三、七三〇	二〇四	二、四四五	四七	一八、七二	7
桐油引新聞紙	一一、九九〇	一九八	一、八二〇	三八	一六、一一	4
同　はとろん紙	一〇、二二〇	一九七	二、三九〇	三八	一六、一七	6
にす加用砒酸鉛引新聞紙	三、八六〇	六五	一、七八〇	三五	三五、〇〇	12
同　はとろん紙	四、五一〇	六八	一、三〇〇	一七	二〇、〇〇	8
にす加用硫酸にこちん引新聞紙	四、二八〇	七八	一、四六〇	二四	二三、五三	9
同　はとろん紙	五、七一〇	九三	七一〇	一三	一二、二七	2
無塗料新聞紙	三、二一〇	四八	一、〇九〇	二〇	二九、四一	11
同　はとろん紙	三、八一〇	六六	一、五五〇	二五	二七、四七	10
普通包裝用茶ばらふいん紙	五、七二〇	一〇九	九九四	二一	一六、一五	5
普通包裝用白厚口ばらふいん紙	二、五六〇	四五	四六〇	八	一五、〇九	3
二重掛ノ部						
荏油引新聞紙	六、三五〇	一〇六	四五〇	八	七、〇二	3
同　はとろん紙	六、六〇〇	九八	八〇〇	一〇	九、六七	5
桐油引新聞紙	五、七八〇	八四	三一二	六	六、六七	2
同　はとろん紙	五、七五〇	七九	四二五	四	四、八二	1
にす加用砒酸鉛引新聞紙	一、一五〇	一七	六二〇	一〇	三五、七〇	12
同　はとろん紙	二、〇九〇	三四	三四〇	六	二一、四三	10
にす加用硫酸にこちん引新聞紙	一、五四〇	二二	二二〇	四	一五、三九	8
同　はとろん紙	一、二〇〇	二二	一八〇	三	八、一一	4
無塗料新聞紙	一、三四〇	二二	五五〇	九	二九、〇三	11
同　はとろん紙	一、五四〇	二五	一八〇	四	一三、七九	6
普通包裝用茶ばらふいん紙	四、五四〇	七一	六九〇	一三	一五、四八	9
普通包裝用白厚口ばらふいん紙	一、六二〇	二五	一八〇	四	一三、七九	7

備考
（イ）袋ハ全部有底ノモノヲ使用ス。
（ロ）荏油ハ荏油八、石油二ノ割ニテ混合使用
（ハ）桐油ハ桐油五、石油五ノ割ニテ混合使用

（第五表）

(ニ)にす加用砒酸鉛ハにす一升、砒酸鉛半封度ノ割デ混合使用
(ホ)にす加用硫酸にこちんハ硫酸にこちん百倍にす液使用
(ヘ)ばらふいん紙ハ日本塗料工業株式會社製品ナリ。

以上ノ試驗成績ヲ本トシテ塗料紙質及袋掛ノ回數等ニ對シ調査ノ結果左ノ如シ。

成績（其二）　袋ノ塗料ト被害歩合比較表

袋ノ種類	被害歩合 荏油	桐油	にす加用硫酸にこちん	砒酸鉛	無塗料	差異（荏油標準） 桐油	にす加用硫酸にこちん	砒酸鉛	無塗料
一回掛ノ部									
新聞紙	一一、七一	一六、一一	三三、五三	三五、〇〇	二九、四一	四、四〇	二、八三	一七、七〇	一七、七〇
はとろん紙	一八、七二	一六、一七	三三、二七	二〇、〇〇	二七、四七	二、五五	六、四五	一、二八	八、七五
二重掛ノ部									
新聞紙	七、〇二	六、六七	三二、四三	三五、七〇	二九、〇三	三五	一四、四一	二八、六八	三二、〇二
はとろん紙	九、二六	四、八二	二五、三九	八、一一	二三、七九	四、四四	六、二三	一、二五	四、五三
合計									
順位	2	1	3	4	5	(一)(一)(一)	(一)(+)	(+)(+)	(+)(+)
						(+)(+)(+)	(一)(+)	(+)(一)	(+)(+)
						二、九四	二、五五	五、九二	五二、一〇

（第六表）

成績（其三）　袋ノ紙質ト被害歩合比較表

塗料名	被害歩合 はとろん紙	新聞紙	差異（新聞紙標準） はとろん紙
一回掛ノ部			
荏油引	一八、七二	一一、七一	七、〇一
桐油引	一六、一七	一六、一一	〇、〇六
にす加用砒酸鉛引	二〇、〇〇	三五、〇〇	一五、〇〇
にす加用硫酸にこちん引	一二、二七	二三、五三	一一、二六
無塗料	二七、四七	二九、四一	一、九四
二回掛ノ部			
荏油引	九、二六	七、〇二	二、二四
桐油引	四、八二	六、六七	一、八五
にす加用砒酸鉛引	八、一一	三五、七〇	二七、五九
にす加用硫酸にこちん引	一五、三九	二一、四三	六、〇四
無塗料	一三、七九	二九、〇三	一五、二四
合計			
順位	(一)(一)(一)(一)(一)(+)	(一)(一)(一)(+)(+)	六九、六一

（第七表）

成績（其四）　袋掛度數ト被害歩合比較表

袋ノ種類	被害歩合 一回掛	被害歩合 二重掛	差異（一回掛標準） 二重掛
荏油引新聞紙	一一、七一	七、〇二	四、六九 (+)
同　はとろん紙	一八、七二	九、二六	九、四六 (+)
桐油引新聞紙	一六、一一	六、六七	九、四四 (+)
同　はとろん紙	一六、一七	四、八二	一一、三五 (+)
にす加用砒酸鉛引新聞紙	三五、〇〇	三五、七〇	〇、七〇 (−)
同　はとろん紙	二〇、〇〇	八、一一	一一、八九 (+)
にす加用硫酸にこちん新聞紙	二三、五三	二一、四三	二、一〇 (+)
同　はとろん紙	一二、二七	一五、三九	三、一二 (−)
無塗料新聞紙	二九、四一	二九、〇三	〇、三八 (+)
同　はとろん紙	二七、四七	一三、七九	一三、六八 (+)
普通包装用茶ばらふいん紙	一六、一五	一五、四八	〇、六七 (+)
普通包装用白厚口ばらふいん紙	一五、〇九	一三、七九	一、三〇 (+)
合計			六一、一四 (+)
順位	2	1	

（第八表）

概評　塗料ニ於テハ桐油最モ良ク、之ニ次ギ荏油にす加用硫酸にこちんノ順ニシテにす加用砒酸鉛最モ劣ル。

紙質ニ於テハはとろん紙良ク新聞紙之ニ次グ、前年度ト同ジ。

袋掛度數ニ於テハ二重掛良ク一回掛之ニ次グ、前年度ト同ジ。

（二）袋ノ耐久力ニ關スル試驗

目的　梨果ニ袋掛スル場合孰レガ最モ耐久力強キカヲ知ラントス。

方法　袋掛セル果實ヲ採收スル場合ニ之ガ破損ノ有無ヲ調ス。但シ貼リ方不完全ノ爲ニ貼リ目ノ離レタルモノハ之ヲ破損ニ加ヘズ。

供試品種　長十郎

袋掛期日　六月二十八日

二重掛期日　八月十日

採收期日　九月六日

成績

被ノ種類	破損	完全	調査果數	破損歩合	完全歩合
一回掛ノ部				百分比	
荏油引新聞紙	一一	二二八	二三九	四、六九	九五、四一
同　はとろん紙	四	二四七	二五一	一、五八	九八、四二
桐油引新聞紙	二七	二〇九	二三六	一一、四四	八八、六六

同 はとろん紙	六	二二八	二三四	二、四二	九七、四四
にす加用砒酸鉛引新聞紙	七	九三	一〇〇	七、〇〇	九三、〇〇
同 はとろん紙	二	八三	八五	二、一四	九七、九六
にす加用硫酸にこちん引新聞紙	八	九四	一〇二	七、八五	九二、一五
同 はとろん紙	〇	一〇六	一〇六	〇	一〇〇、〇〇
無塗料新聞紙	一二	五六	六八	一七、六五	八二、三五
同 はとろん紙	三	八八	九一	三、三〇	九六、七〇
普通包裝茶ばらふいん紙	三一	九九	一三〇	二、五〇	九七、五〇
普通包裝用白厚口ばらふいん紙	六	四七	五三	一一、三二	八八、六八
二重掛ノ部					
荏油引新聞紙	三	一一一	一一四	二、六三	九七、三七
同 はとろん紙	〇	一〇八	一〇八	〇	一〇〇、〇〇
桐油引新聞紙	三	八七	九〇	三、三三	九六、六六
同 はとろん紙	〇	八三	八三	〇	一〇〇、〇〇
にす加用砒酸鉛引新聞紙	〇	二七	二七	〇	一〇〇、〇〇
同 はとろん紙	一	三六	三七	二、七〇	九七、三〇
にす加用硫酸にこちん引新聞紙	〇	二八	二八	〇	一〇〇、〇〇
同 はとろん紙	〇	二六	二六	〇	一〇〇、〇〇
無塗料新聞紙	五	二六	三一	一六、一二	八三、八八

同 はとろん紙	〇	二九	二九	〇	一〇〇、〇〇
普通包裝用白厚口ばらふいん紙	三	八一	八四	三五八	九六、四三
普通包裝用白厚口ばらふいん紙	〇	二九	二九	〇	一〇〇、〇〇

（第九表）

（三）袋掛ノ梨果發育ニ及ボス影響試驗

目的 梨果ニ袋掛スルトキハ果實ノ發育ニ影響アリヤ否ヤヲ知ラントセリ。

方法 前年度ニ準ズ。

供試品種 長十郎十六年生位

袋ノ種類 荏油引はとろん紙有底

供試果數 調査着手當日百五〇個位ノ結果梨樹二本ニ付キ各一本ニ無袋二十五個、被袋二十五個ニ付キ調査セシガ故障ノ爲ニ中途ニ除外シタルモノアリテ無袋十六個、被袋二十九ニ對スル成績ナリ。

成績（其一）

種別 ＼ 調査期		七月八日		七月二十三日		八月六日		八月二十二日		九月二日	
		高サ	直徑	高サ	直徑	高サ	直徑	高サ	直徑	高サ	直徑
被袋	匿	三、八五二	匿 四、四〇五	四、八三〇	五、六三〇	五、九七二	六、八三九	六、七二五	七、六六三	七、〇七八	八、〇八三
無袋		三、六六二	四、一三二	四、五一四	五、四〇八	五、五二三	六、六五二	六、五〇一	七、五二九	六、八五二	七、八九二

摘要

差		〇、一九〇	〇、二七三	〇、三一六	〇、三三	〇、四五〇	〇、一八八	〇、二二四	〇、一三四	〇、三二七	〇、一九二

成績（其二）　調査着手當日ヲ同一大サトシテ比較

（第一〇表）

被袋	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、二五四	一、二七六	一、五五一	一、五五三	一、七七〇	一、七七九	一、八三七	一、八二五
無袋	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、二三三	一、三〇八	一、五〇八	一、六九〇	一、七七六	一、八一九	一、八七九	一、九一〇
差	—	—	〇、〇二二	(一)〇、〇三〇	(一)〇、〇四三	(一)〇、一三七	(一)〇、〇〇六	(一)〇、〇八〇	(一)〇、〇三四	(一)〇、〇七五
										無袋標準

概評

一、被袋果ハ無袋果ニ比シ幾分發育不良ノ傾向アリ。

（四）袋掛ノ効力並ニ經濟關係比較

目的　袋掛ノ効力ト經濟トノ關係ヲ知ラントス。

方法　袋掛ノ効力ニヨル增收ヨリ防除費ヲ差引キ且健全果百個ヲ收穫スルニ要スル經費ヲ算出シテ比較セリ。

成績

（第一一表）

袋ノ種類	袋百枚代	一本當リ袋代	一本ニ付袋掛賃	一本當リ總經費	被害歩合	健全果百個防除費	順位
一回掛ノ部							
荏油引新聞紙	九、五七錢	二八、七一錢	二七、八〇錢	五六、五一錢	一一、七一%	二一、四〇錢	2
同　はとろん紙	一三、八七	四一、六一	二七、八〇	六九、四一	一八、七二	二八、四五	5
桐油引新聞紙	八、七四	二六、六二	二七、八〇	五四、〇二	一六、一一	二一、四四	3
同　はとろん紙	一三、〇四	三九、一二	二七、八〇	六六、九二	一六、一七	二六、六六	6
にす加用砒酸鉛引新聞紙	七五、七七	二二七、三一	二七、八〇	二五五、一一	三五、〇〇	一三〇、八〇	16
同　はとろん紙	八〇、〇七	二四〇、二一	二七、八〇	二六八、〇一	二〇、〇〇	一一一、六七	15
にす加用硫酸にこちん引新聞紙	六九、二五	二〇七、七五	二七、八〇	二三五、五五	二三、五三	一〇二、八六	14
同　はとろん紙	七三、五五	二二〇、六五	二七、八〇	二四八、四五	一二、二七	九四、四七	13
無塗料新聞紙	六、一二	一八、三六	二七、八〇	四六、一六	二九、四一	二一、一九	1
同　はとろん紙	一〇、四二	三一、二六	二七、八〇	五九、〇六	二七、四七	二三、四四	4
二重掛ノ部							
荏油引新聞紙	一回掛部ト同	五七、四二	五五、六〇	一一三、〇二	七、〇二	四一、七〇	8
同　はとろん紙	右同	八三、二二	五五、六〇	一三八、八二	九、二六	五八、七六	12
桐油引新聞紙	右同	五二、四四	五五、六〇	一〇八、〇四	六、六七	三八、五九	7
同　はとろん紙	右同	七八、二四	五五、六〇	一三三、八四	四、八二	四六、七九	11
にす加用砒酸鉛引新聞紙	右同	四五四、六二	五五、六〇	五一〇、二二	三五、七〇	二六四、三五	20
同　はとろん紙	右同	四八〇、四二	五五、六〇	五三六、〇二	八、一一	一九四、二一	18
にす加用硫酸にこちん引新聞紙	右同	四一五、五〇	五五、六〇	四七一、一〇	二一、四三	一九九、六一	19
同　はとろん紙	右同	三三一、三〇	五五、六〇	三八六、九〇	一五、三九	一五二、三二	17

無塗料新聞紙	右同	三六、七二	五五、六〇	九二、三二	二九、〇三	四三、三五	9
同はとろん紙	右同	六二、五二	五五、六〇	一一八、一二	一三、七九	四五、六一	10

（第一二表）

附記　計算ハ總テ四捨五入ス。

袋ハ一本ニ付三百枚、女一人ニ付一日一〇〇枚掛ニテ計算ス。尚ホ結縛針金代ハ袋掛賃ニ合算セリ。

損益計算表

袋ノ種類	一本當リ無害果數	効力ニ依ル增收果數	同上價額	一本當リ總經費	一本當リ損益 損	一本當リ損益 益	順位
一回掛ノ部							
荏油引新聞紙	二六四個	二二七個	四、〇八六円	五六、五一錢	—	三、五二〇九円	1
同はとろん紙	二四四	二〇六	三、七〇八	六九、四一	—	三、〇一三九	8
桐油引新聞紙	二五二	二一四	三、八五二	五四、〇二	—	三、三一一八	2
同はとろん紙	二五一	二一三	三、八三二	六六、九二	—	三、一六二八	5
にす加用砒酸鉛引新聞紙	一九五	一五七	二、八二六	二五五、一一	—	〇、二七四九	16
同はとろん紙	二四〇	二〇二	三、六三六	二六八、〇一	—	〇、九五五九	15
にす加用硫酸にこちん引新聞紙	二二九	一九一	三、四三八	二三五、五五	—	一、〇八二五	14
同はとろん紙	二六三	二二五	四、〇五〇	二四八、四五	—	一、五六五五	13
無塗料新聞紙	二一八	一八〇	三、二四〇	四六、一六	—	二、七七八四	11
同はとろん紙	二五二	二一四	三、八五二	五九、〇六	—	三、二六一四	4
二重掛ノ部							
荏油引新聞紙	二七一	二三三	四、一九四	一一三、〇二	—	三、〇六三八	7
同はとろん紙	二七二	二三四	四、二一二	一三八、八二	—	二、八二三八	9
桐油引新聞紙	二八〇	二四二	四、三五六	一〇八、〇四	—	三、二七五六	3
同はとろん紙	二八六	二四八	四、四六四	一三三、八四	—	三、一二五六	6
にす加用砒酸鉛引新聞紙	一九三	一五五	二、七九〇	五一〇、二二	二、三一二円	—	20
同はとろん紙	二七六	二三八	四、二八四	五三六、〇二	一、〇七六三	—	18
にす加用硫酸にこちん引新聞紙	二三六	一九八	三、五六四	四七一、一〇	一、一四七〇	—	19
同はとろん紙	二五四	二一六	三、八八八	三八六、九〇	—	〇、〇一九〇	17
無塗料新聞紙	二一三	一七五	三、一五〇	九二、三二	—	二、二二六八	12
同はとろん紙	二五九	二一一	三、九七八	一一八、一二	—	二、七九六八	10
標準	三八	—	—	—	—	—	—

（第一三表）

（梨果ハ一個六十匁ニ付三十錢ニテ計算ス）

概評　健全果百個ヲ採收スルニ要スル防除費ニ於テ二重掛ヨリモ一回掛ノ方安シ。

損益計算ニ於テモ二重掛ヨリモ一回掛ノ方利益多シ。

附記　（イ）昭和二年度袋材料品相場表

材料名	容積	單價	摘要
新聞紙	一貫目	〇、四〇円	袋九〇〇枚仕上
はとろん紙	大判百枚	一、七五	大判一枚二〇枚仕上り
荏油	一升	一、六〇	石油二割加用、一升袋四〇〇枚仕上り
桐油	一升	一、六〇	石油五割加用、一升袋四〇〇枚仕上り
石油	一斗	五、〇〇	荏油、桐油ニ加フ
塗料にす	三合五勺	〇、六五	しわりしけらつくにす使用
硫酸にこちん	一封度	二、八〇	硫酸にこちん一〇〇倍、にす液五〇〇瓩ガ袋二〇〇枚仕上リ
砒酸鉛	一封度	〇、七〇	にす一升、砒酸鉛半封度加用液五〇〇瓩、袋二〇〇枚仕上リ
（ロ）勞銀			
男	一日	一、五〇円	
女	一日	一、〇〇	

荏油及桐油塗抹ハ女一日六、〇〇〇枚
にす加用砒酸鉛及にす加用硫酸にこちん塗抹ハ女一日一、〇〇〇枚
袋掛ハ女一日一、一〇〇枚
袋掛用針金ハ梨樹一本ニ付〇、〇〇五円袋掛賃ニ合算セリ。

三、適餌植物トノ關係

（一）各種被害植物ニ對スル嗜好性試驗

目的　各種ノ新梢中梨姫心喰蟲ハ何レノ植物新梢ヲ最モ好ムヤヲ知ルヲ目的トス。

方法　梨棚下諸所ニ新梢ノ加害ヲ受クル植物ヲ植エ被害ノ數ヲ調査セリ。

成績

種類	品種名	調査月日	五、二〇	五、二五	五、三〇	六、四	六、九	六、一四	六、一九	六、二四	六、二九	七、四	七、九	七、一四	七、一九	七、二四	七、二九	八、四	八、九	八、一四	八、一九	合計
梅	花香美																					
楹																						
米桃																						
楹	博十郎		一	二		三	一	二	四	二	一	四	一四	二	二				一			三九
李																						
梨																						
ぼけ			三	一																		
梅	花香美									四					三							七
楹																						
櫻桃	なぽれおんぴかろー																					
櫻	吉野櫻							一	二			一		二				三			一	七
櫻桃	なぽれおんぴかろー			一																		
櫻桃	吉野櫻		二		一						一		二				一					一〇
米桃																					二	二

桃	博十郎	一	二	一	四	一	一	一	五	一	七	四	一	一	一	一	一	二六
ぼけ		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一	一	一	一	四
油桃		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
桃		二	一	一	二	一	一	一	一	一	一	二	一	一	一	一	一	六

附記　八月十九日以降四回調査セシニ供試植物ヲ加害セルモノナキタメ省略セリ。

概評　以上ノ成績ヲ見ルニ桃ニ最モ多ク、櫻、油桃、榲桲、ぼけ、櫻桃、米桃之ニ次ギ、梅、梨ニハ心材ノ生ゼルモノナシ。大體昨年ニ等シ。

（第一四表）

四、捲附法ニ關スル試驗

目的　捲附法ノ驅除上ノ効果、幼蟲ノ越冬期並ニ寄生率ヲ知ラントス。

方法　梨主枝ノ分岐點ニ近キ幹ニ紺木綿若クハ新聞紙ヲ捲附ケ其ノ内ニ入ル結繭幼蟲ヲ調査セリ。

成績

樹番	品種名	捲附材料	1回	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	合計
		調査月日 / 回數	九、二四	一〇、一	一〇、八	一〇、一五	一〇、三	一〇、二九	一一、五	一一、一三	一一、一九	一一、二六	三、三	
1	晩上花	新聞紙	七	三	三	一								一三
2	同	同	一一	三	二	一								一七
3	同	同	四	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二六
4	同	同	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	四
5	同	同	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
6	同	同	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
7	同	木綿	一二	六	二	一	一	一	一	一	一	一	一	二六
8	同	同	一七	一五	三	七	二	二	二	二	二	二	二	四五
9	同	同	一五	一六	六	一	二	三	三	三	三	三	三	二四
10	同	同	八	七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一八
11	同	同	一〇	五	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一三
12	同	同	三	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二三
13	同	同	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二
合計	同	新聞紙	二八	一一	一二	五	二	一	一	一	一	一	一	五九
	同	木綿	六六	五六	一七	九	七	三	四	四	一	一六七		二二六
1	長十郎	新聞紙	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
2	同	同	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二
3	同	同	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三
4	同	同	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
5	同	同	一	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	三
6	同	同	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

| | | |

合計	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
木綿	新聞紙	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
六	二			一					一							
一二	四				一		二		一	一		一	一			
一三	九	一		一								一	一			
二	三										一					
二										一						
	三															
一	一		一													
一	一		一													
三七	二三 六〇	一		二	二	一		二		三	二	一	二	二		

（第一五表）

五、燻煙試驗

目的 梨姫心喰蟲ノ蛾ヲ燻煙ニヨリテ逸逃セシメ以テ産卵ヲ少ナカラシメントス。

方法 梨棚ニ渦卷蚊取線香ヲ吊シ毎夕四時頃點火セリ。

供試品種 長十郎

成績

區別	一區本數	健全果 重量	健全果 個數	被害果 重量	被害果 個數	被害歩合	順位
燻煙區	8	九六、三九〇	一、二四四	六、二六五	九九	七、三一	2
標準區	8	九七、四二〇	一、三一九	四、八八〇	八〇	五、七二	1

（第一六表）

備考 八月六日ヨリ試驗ニ着手セリ。

梨樹四本ニ線香一本當リ使用セリ。

試驗梨園ニ於ケル藥劑撒布ヲ示セバ次ノ如シ。

五月十六日　砒酸鉛石灰液撒布

同月廿五日　同

六月四日　同

同月十五日　同

同月廿四日　同
七月　四日　同
同月十五日　硫酸にこちん石鹸液撒布
八月　二日　同
同月二十日　同

藥劑撒布ハ標準區、燻煙區共ニ行ヘリ。

梨果採收月日

八月二十七日、八月三十日、九月二日、九月五日、九月七日、九月九日、九月十一日、九月十三日、九月十五日、九月十七日、以上十回ニ採收セリ。

概評　以上ノ成績ニヨレバ試驗方法材料ノ不完全ナル爲メカ燻煙區ノ成績劣レリ。尙ホ今後ノ研究ニ俟タン。

六、食餌誘殺ニ關スル試驗

(一)　食餌ノ種類ニ關スル試驗

目的　最モ有効ナル食餌ヲ知ラントス。

方法　前年ニ準ズ。食餌器第二號

成績（其一）　四月十四日調製　同十五日施行

番號	配合量 ＼ 月日	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	合計	一日平均
一	梨果汁一〇〇蒟			1/0			1/0			1/0		2/0	〇、二
二	梨果汁五〇、水五〇									2/0	1/0	2/0	〇、二
三	苹果汁一〇〇												
四	苹果汁五〇、水五〇												
五	砂糖汁十倍液一〇〇												
六	同右二十倍液一〇〇												
七	蜂蜜十倍液一〇〇												
八	同右二十倍液一〇〇												
九	砂糖汁二十倍液八〇、酢二〇												
一〇	苹果汁五〇、酢二〇、水三〇												

（第一七表）

成績（其二）　四月二十六日調製　同日施行

番號	配合量 ＼ 月日	四、二七	二八	二九	三〇	五、一	二	三	四	五	六	七	八	合計	一日平均
一	梨果汁一〇〇			1/0	0/1			1/0			0/1			2/2	〇、三三
二	梨果汁五〇、水五〇								1/2					1/2	〇、二五

成績（其三）　五月十日調製　同日施行

（第一八表）

番號	配合量	五、二	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	合計	一日平均
一	梨果汁一〇〇						1/1	3/1			3/1	〇、四四
二	梨果汁五〇、水五〇										1/1	〇、二二
三	苹果汁一〇〇											
四	苹果汁五〇、水五〇											
五	黑砂糖十倍液一〇〇											
六	同右二十倍液一〇〇											
七	蜂蜜十倍液一〇〇											
八	同右二十倍液一〇〇											
九	黑砂糖十倍液八〇、酢一〇、酒一〇											
一〇	同右十倍液八〇、酢二〇	1/1										
一一	貯藏液第一號十倍液一〇〇			1/0								
一二	同第三號十倍液一〇〇		1/0									
一三	黑砂糖十倍液九〇、酒一〇		1/0		0/1							
一四	梨えつせんす五、水九五		2/1									
						1/0	0/1		1/0	2/0	1/0	
							1/0		1/0	1/0		
									乾			
			1/0				2/1	2/0			1/0	1/1	
		○	1/0	6/2	1/0	3/2	3/0	1/0	○	1/0	1/0	3/2	1/0
		○	○、〇八	○、五八	○、〇八	○、四一	○、二五	○、一一	○	○、一一	○、〇八	○、四一	○、〇八

成績（其四）　五月十九日調製　同日施行

（第一九表）

番號	配合量	五、二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	合計	一日平均
一	其三ニ等シ										
二											
三						1/1					
四								0/1			
									1/0	1/0	○、一二
										○	○
						1/1				1/1	○、二四
										0/1	○、一二
三	苹果汁一〇〇										
四	苹果汁五〇、水五〇										
五	黑砂糖十倍液一〇〇										
六	蜂蜜十倍液一〇〇										
七	黑砂糖十倍液八〇、酒一〇、酢一〇				1/0						
八	同右 八〇、酒二〇										
九	同右 八〇、酢二〇		1/0								
一〇	貯藏液第一號十倍液一〇〇										
一一	同 第三號同 一〇〇										
一二	同 第四號同 一〇〇										

成績（其五）　五月二十七日調製　同日施行

（其三）ニ等シキ配合量ニテ六月九日マデ試驗ヲ續行セルニハまき類、なしけんもん等入リシモ梨姫心喰蛾ハ一頭モ入ラザリシ。

成績（其六）　六月九日調製　同日施行

番號	配合量	月日	六、一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	合計	一日平均
一	其三ニ等シ										1/0	1/0	1/0	0/1	1/0	4/1	〇、三八
二											1/0	1/0	0/2	0/1		0/1	〇、〇七
三														0/1		2/3	〇、三八

（第二〇表）

番號	配合量	月日	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	合計	一日平均
一						0/1					0/3	〇、三六
二											0/1	〇
三											0/2	〇

成績（其七）　六月二十四日調製　同日施行

番號	配合量	月日	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	合計	一日平均
	枇杷果汁一〇〇														
	枇杷果汁五〇〇														
			1/0												
					0/1				1/0						
													1/0		
				0/1											
						1/0									
							0/2					0/1			
												1/1			
			2/0	1/2			0/2					1/1	2/0		
			〇、一四	〇、二一	〇	〇	〇、一四	〇、〇七	〇、〇七	〇、〇七	〇、〇七	〇、一四	〇、一四		

（第二一表）

番號	配合量	月日	六、二五	二六	二七	二八	二九	三〇	七、一	二	三	四	合計	一日平均
一	前回ニ等シ		1/0	0/2		1/0	1/0		0/2	乾		乾	2/2	〇、五七
二			1/0	1/1	2/1	1/0	1/0	1/4					7/8	一、五〇
三			1/0		1/2	1/2			6/2	1/2			10/8	二、〇〇

成績（其八）　六月二十五日調製　同日施行

番號	配合量	月日	六、二六	二七	二八	二九	三〇	一	二	三	總計	一日平均	十二個平均
一	貯藏液第八號五〇、水五〇												
二	同　第九號五〇、水五〇		1/0										
三	同　第一〇號五〇、水五〇						1/7	1/0	乾	—	2/7	〇、二五	
四			0/1				0/1				8/8	一、六〇	
五							0/2				11/4	一、五〇	
六			1/1				0/2				6/9	一、五〇	
七			3/3	6/2			0/2				6/7	一、四四	
八			3/2	1/0			0/2	2/1			6/6	一、三三	
九			8/1								12/5	一、七〇	
一〇			1/1		2/1	0/1					11/4	一、六六	
一一				0/2							15/10	二、五〇	
一二				0/1	1/3	1/0	0/3				11/5	一、六〇	
一三					0/1								
一四			0/1								3/5	〇、八八	

（第二二表）

成績（其九）　八月二十六日調製　同日施行

番號	配合量	月日	八、二七	二八	二九	三〇	三一	總計	一日平均	十二個平均
一	砂糖汁二十倍液八〇、酢一〇、酒一〇			0/1				0/1	〇、二〇	
二	同			0/3				5/13	三、六〇	
三	同			0/1		4/6		0/1	〇、二〇	
四	同		1/0			1/1	2/2	4/3	一、四〇	
五	同			3/2			0/2	3/4	一、四〇	
六	同		1/0	2/4			1/0	3/4	一、四〇	
七	同			0/1				0/1	〇、八〇	合計五八頭　一日一個當リ〇、九六頭
八	同		2/1					2/2		
四	同　第一一號五〇、水五〇									
五	ざらめ糖匁ヲ水一升ニトカセルモノ一〇〇、酵母加用		1/0							
六	同　同									
七	貯藏液第三號二〇、水八〇			2/1		1/6				
八	すとろねるらおいる五、水九五					2/7	1/0	0/1		
九	錯酸四、水九六					0/1		3/0		
						6/9	0/1	4/1		
						一、八五	〇、一二	〇、六二		

（第二三表）

成績（其一〇）　九月一日調製　同日施行

番號	配合量	九、二	三	四	五	六	總計	一日平均	十二個平均
九	同	1/0	1/4						
一〇	同		0/2		1/0	2/3	2/1	〇、六〇	
一一	同		1/1				3/5	一、六〇	
一二	同						1/1	〇、二〇	
一三	糖蜜二十倍液八〇、酢一〇、酒一〇								
一四	同								
一五	同								
一六	同								
一七	同								
一八	同				1/0		1/0	〇、二〇	合計一日一個當リ五頭
一九	同		1/0				1/0	〇、二〇	〇、〇八頭
二〇	同								
二一	同		0/1				0/1	〇、二〇	
二二	同								
二三	同								
二四	同								

（第二四表）

番號	配合量	九、二	三	四	五	六	總計	一日平均	十二個平均
一	砂糖汁二十倍液八〇、酒一〇、酢一〇、さりちん酸〇、一%	0/1	0/1	1/1	1/0	1/0	3/3	一、二〇	
二	同	2/2	1/2			2/3	6/9	三、〇〇	
三	同	2/1	0/2		1/2	3/1	4/6	二、〇〇	
四	同	0/1	0/1	1/2		2/3	3/7	二、〇〇	
五	同	0/2		4/1	1/1	1/2	6/6	二、四〇	
六	同			2/3		3/1	3/4	一、四〇	合計八一頭
七	同	2/2				1/1	3/3	一、二〇	一日一個當リ一、三五頭
八	同	2/0		1/0		0/1	3/1	〇、八〇	
九	同	1/1			0/1		4/1	一、〇〇	
一〇	同	2/0	0/1		2/0		1/2	〇、六〇	
一一	同	0/1				1/0	1/1	〇、四〇	
一二	糖蜜二十倍液八〇、酒一〇、酢一〇、さりちる酸〇、一%				0/1		0/1	〇、二〇	
一三	同		0/3			0/1	0/4	〇、八〇	
一四	同								〇
一五	同	1/0					1/0	〇、二〇	
一六	同	0/1	1/0				1/1	〇、四〇	
一七	同			0/1			0/1	〇、二〇	

二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八
同	同	同	同	同	同	同
			0/1		0/3	
			0/1		0/3	
〇	〇	〇	〇、二〇	〇	〇、六〇	〇
						合計 一日一個當リ一二〇頭

（第二五表）

備考

1、容器ハ斷リナキ場合ハ第二號ヲ使用ス。

2、貯藏液第一號ハ梨果汁一立ヲ一六五瓩ニ煮詰メタルモノ

第二號　梨果汁四五〇瓩ニさらめ一四匁ヲ加ヘ一八〇瓩ニ煮詰メタルモノ

第三號　梨果汁三、五立ニさらめ六〇匁ヲ加ヘ五五〇瓩ニ煮詰ム。

第四號　梨果汁三立ニさらめ六〇匁ヲ加ヘ六三〇瓩ニ煮詰ム。

第八號　梨果汁ヲ二十分間沸騰セシメタルモノ

第九號　梨果汁〇、五立ヲ沸騰セル後〇、一%ノさりちる酸ヲ加フ。

第一〇號　梨果汁〇、五立ニ三〇%ノ白砂糖ヲ加フ。

第一一號　梨果汁〇、五立ニ白砂糖三〇%ヲ加ヘ沸ス。

3、砂糖汁ト稱スルモノハ駄菓子屋ニテ鐵砲玉等ヲ製造スルニ使用スルモノナリ。糖蜜トハ多少異ナルガ如シ。

四〇

以上成績ヲ一覽表ニテ示セバ次ノ如シ。

配合量 ＼ 期間 ＼ 月日	四、三一～五、二	四、二六～五、八	五、一〇～五、一九	五、二九～六、一七	六、九～六、一三	六、二四～七、四	七、四～七、一三	七、三～七、二六
	一〇	一一	九	八	一一	一〇	九	一三
梨果汁原液	〇、二一〇	〇、二三	〇、二一二	〇、一一二	〇、二二八	〇、五七	〇、九九	〇、二二八
同　二倍液	〇、二一〇	〇、二一五	〇、四四	〇、二一四	〇、〇七	一、五〇	〇、一一	〇、二二八
苹果汁原液	—	〇、〇八	—	—	〇、二二八	二、〇〇	一、五五	一、一五
同　二倍液	—	〇、四一	〇、二二	〇、一二	〇、一四	〇、八八	〇、四四	〇、二二〇
枇杷汁原液	—	—	—	—	〇、二一一	一、五〇	一、四四	〇、二一二
同　二倍液	—	—	—	—	〇、二一一	一、六〇	一、五五	〇、四六
砂糖汁十倍液	—	〇、〇八	〇、一一	〇、二六	〇、一四	—	—	—
同　二十倍液	—	〇、一一	—	—	—	—	—	—
同　二十倍液八〇、酢二〇	〇、二一〇	—	—	—	—	—	—	—
酢同　同　八〇、酒一〇	—	〇、二五	〇、二二	—	〇、〇七	二、五〇	—	—
同　十倍液八〇、酢二〇	—	〇、四一	〇、二二	—	〇、一四	一、七〇	—	—
同　同　八〇、酒二〇	—	—	〇、一一	〇、一二	〇、〇七	一、六六	—	—
同　九〇、酒一〇	—	〇、〇八	—	—	—	—	—	—
蜂蜜十倍液	—	—	—	—	〇、〇七	一、六〇	—	—
貯藏液第一號十倍液	—	〇、〇八	〇、一一	—	—	一、二二	—	—

同	第三號十倍液	—	〇、五八	—
同	第四號十倍液	—	〇、四四	—
		—	一、四四	—
		—	一、五〇	一、五五	〇、二二

（二）食餌ノ濃度ニ關スル試驗

目的　各食餌ノ最モ適當ナル濃度ヲ知ラントス。

方法　同前

成績（其一）　七月四日調製　同日施行　容器第二號

番號	配合量	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	總計	一日平均
一	ざらめ二〇匁ヲ水一升ニ溶解セルモノ											
二	同　四〇匁　同											
三	同　六〇匁　同											
四	同　一〇〇匁　同											
五	枇杷果汁　原液		1/1	2/0								
六	同　二倍液	1/0	0/2									
七	同　三倍液			1/0								
八	同　五倍液					1/2	1/0					
九	同　十倍液					2/2		1/2	1/0			
一〇	苹果汁　原液						0/1	1/5	2/1	4/1	1/0			
一一	同　二倍液							1/2	4/2	2/2	2/1			
一二	同　三倍液											1/1		1/1	0/1		
一三	同　五倍液											2/0		0/1	0/1		
一四	同　十倍液																
一五	貯藏液第四號二倍液																
一六	同　五倍液																
一七	同　一〇倍液																
一八	同　一五倍液																
一九	ざらめ六〇匁ヲ水一升ニ溶セルモノ八合、酒一合																
二〇	梨果汁　原液																
二一	同　二倍液																
二二	同　三倍液																
二三	同　五倍液																
二四	同　一〇倍液																
		〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
		一、六六	一、五五	一、五五	一、四四	〇、五五	〇、一一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

（第二六表）

番號	配合量	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	總計	一日平均
九	同　十倍液											
一〇	苹果汁　原液	1/0	2/1									
一一	同　二倍液											
一二	同　三倍液											
一三	同　五倍液											
一四	同　十倍液											
一五	貯藏液第四號二倍液	1/0										
一六	同　五倍液											
一七	同　一〇倍液		0/3									
一八	同　一五倍液	1/1										
一九	ざらめ六〇匁ヲ水一升ニ溶セルモノ八合、酒一合	5/0	3/0	1/1	1/0	2/3	0/1	1/1	1/0	3/1	11/3	1/1
二〇	梨果汁　原液		2/2	3/2								
二一	同　二倍液		1/1									
二二	同　三倍液											
二三	同　五倍液		2/0	0/1								
二四	同　一〇倍液			外一 0/1								
		〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
		〇、四四	〇、五五	〇	〇、一一	〇、九九	〇、七七	一、五五	一、四四	〇、七七	〇、六六	〇、六六	〇、四四	一、五五	〇、二二

（第二七表）

番號	配合量	月日	七、二四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	合計	一日平均
一	ざらめ二〇匁ヲ水一升ニ溶セルモノ一〇〇																
二	同六〇匁ヲ水一升ニ溶セルモノ一〇〇																
三	しところれるら、おいる五、水九五																
四	ぜらにおーる、えさすとら五、水九五																
五	枇杷果汁一〇〇				0/1												
六	枇杷果汁五〇、水五〇		1/1	0/1	0/1											1/1	○
七	同 三三、水六六				1/1		1/1	1/1								6/5	○、八四
八	同 二〇、水八〇			0/1		0/1										6/2	○、六一
九	同 一〇、水九〇					1/0										3/7	○、七六
一〇	苹果汁一〇〇			2/1	2/1	1/2	0/1	2/0								0/1	○、〇七
一一	同 五〇、水五〇					0	1									2/2	○、三〇
一二	同 三三、水六六					0/1										8/7	一、一五
一三	同 二〇、水八〇			0/1												1/1	○、一五
一四	同 一〇、水九〇				1/1		1									3/4	○、五三
一五	貯藏液第四號五〇、水五〇		1/1													2/2	○、三〇
一六	同 二〇、水八〇															2/4	○、四六
一七	同 一〇、水九〇		0/1		カ	カ	カ	カ								1/2	○、二二
一八	同 六、六、水九三、三		5/1	0/1	1/0	2/0	0/2	1/0	0/1	1/0	1/0	1/0	1/0	1/0	0/1	13/7	一、五二
一九	ざらめ六〇匁ヲ水一升ニ溶解セルモノ八〇、酒一〇、酢一〇			1/1		1/1			0/1							2/3	○、三八
二〇	梨果汁一〇〇		0/1													2/3	○、三八
二一	同 五〇、水五〇			カ	カ	カ										2/3	○、三八
二二	同 三三、水六六															0/1	○
二三	同 二〇、水八〇			0/1												0/3	○、二三
二四	同 一〇、水九〇				0/1											0/2	○、一五
二五	酢五〇、酒五〇																○

（第二八表）

備考　カ印ハ黴ヲ生ゼシモノ（以下同様）

成績（其三）　七月十五日調製　同日施行

番號	配合量	月日	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	合計	一日平均
一	糖蜜十倍液八〇、酒一〇、酢一〇						1/0					1/0	○、一一
二	同 同											○	○
三	同二十倍液八〇、同											○	○
四	同 同					1/0						1/0	○、一一
五	同三十倍液八〇、同											○	○

番號	配合量	七、二九	三〇	三一	八、一	二	三	四	五	六	七	八	合計	一日平均
一	糖蜜十倍液八〇、酒一〇、酢一〇				1/0								1/0	○、〇九
二	同　同		1/0										○	
三	同二十倍液八〇、同　同		0/1		1/0								1/0	○、〇九
四	同　同　同				1/0	1/0							3/0	○、二七
五	同三十倍液八〇、同　同				4/1	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	4/1	○、四四
六	同　同　同													
七	同五十倍液八〇、同　同													
八	同　同　同			0/1									0/1	○、一一
九	同二十倍液一〇〇													
一〇	同　同													
一一	貯藏液第四號十倍液一〇〇													
一二	梨果汁二倍液一〇〇													
一三	同　同													
											1/0	0/1	1/0	○、一一
													○	○
													○	○
													○	○

（第二九表）

番號	配合量	七、二九	三〇	三一	八、一	二	三	四	五	六	七	八	合計	一日平均
七	同五十倍液八〇、同　同	1/1	0/1	1/0	0/2	1/0							2/3	○、六三
八	同　同　同	2/0	1/3		4/0	1/1							12/4	一、四五
九	同二十倍液一〇〇			1/0	1/0	1/0							3/3	○、五四
一〇	同　同		1/0										3/1	○、三六
一一	砂糖汁十倍液八〇、酒一〇、酢一〇	1/1	0/1	1/0	0/2	1/0	1/0	1/0	1/0	1/0	1/0	1/0	6/1	○、六三
一二	同　同　同	1/1	2/1		1/0	1/0							3/2	○、四五
一三	同二十倍液八〇、同　同	2/0	5/2		1/1		0/1	0/1					1/1	○、一八
一四	同　同　同	1/0			1/0	1/0							9/4	一、一八
一五	同三十倍液八〇、同　同	1/0	1/0		0/2	2/1							10/5	一、三七
一六	同　同　同	1/0	1/0	1/0	1/0	1/0							5/5	○、九〇
一七	同五十倍液八〇、同　同	2/0		0/1	1/0								4/1	○、四五
一八	同　同　同	2/0	1/3	1/0	カ	カ	1/0						1/0	○、〇九
一九	同二十倍液一〇〇												1/0	○、〇九
二〇	同		1/0										○	○
二一	梨果汁一〇〇		1/0											
二二	同　一〇〇													

（第三〇表）

（三）食餌用ノ容器ニ關スル試驗

目的　最モ適當ナル容器ヲ知ラントス。

（第三一表）

番號	配合量	七、三〇	三一	八、一	八、二	合計	一日平均
一	砂糖汁三倍液八〇、酒一〇、酢一〇						
二	同　同	1/1					
三	同　同						
四	同　六〇、酒二〇、酢二〇						
五	同　同　同	1/0					
六	同　同　同						
七	同　六〇、酒三〇、酢一〇	1/0					
八	同　同　同	0/1					
九	同　同　同						
一〇	同　酒一〇、酢三〇						
一一	同　同　同	0/1			1/0	1/1	○、五〇
一二	同　同　同						○
一三	同　一〇〇						○
一	第三號	2/0		1/0	1/0	2/1	○、七五
二	同	3/1	2/3			1/0	○、二五
三	同	2/1	1/0				○
四	第四號	1/0	1/0				○
五	同	2/0	2/1				○
六	同	2/2	0/1			1/0	○、二五
七	第一號（但屋根ナシ）		0/2		0/1	0/2	○、五〇
八	同						○
九	同						○
一〇	第二號	4/0					○
一一	同	1/0	2/1	1/1	1/1	1/1	○、五〇
一二	同	1/0	1/0				○
一三	第六號	1/0					○

方法　同前

成績（其一）　六月三十日調製　同日施行

但シ液ハざらめ六〇匁ヲ水八合ニ溶解シ酒並ニ酢ヲ各一合宛加ヘタルモノヲ使用ス。

番號	容器	七、一	二	三	四	五	合計	雌雄總計	一日一個平均
一	第三號	2/0	3/1	2/1	3/0	2/1	12/3	三二	一〇、六六
二	同		2/3	1/0	2/0	1/1	7/3		
三	同			1/0	3/0	0/1	7/0	三二	一〇、六六
四	第四號	1/0		1/0	1/0	2/0	6/0		
五	同	2/0		2/1	2/1	3/2	7/4		
六	同	2/2	0/2	0/1	1/2		8/7		
七	第一號（但屋根ナシ）								
八	同								
九	同				1/1		1/1	二	○、六六
一〇	第二號	4/0		0/1	0/1	1/1	4/1		
一一	同	1/0		1/1	1/0	2/1	8/2	一七	五、六六
一二	同	1/0					5/2		
一三	第六號	1/0							

成績（其二）　七月七日調製　同日施行

但シ液ハ次ノ三種ヲ使用ス。

イ、砂糖汁　十五倍液

ロ、糖蜜　十五倍液

ハ、右液ニ酵母ヲ加用ス。

番號	容器	液種類	七、八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	合計	雌雄合計	一日一個平均
一	第三號	イ			1/0	3/0	3/1	3/0	0/3	1/1 10/1	一三	〇、六一
二	同	ロ		1/0					0/1			
三	同	ハ								〇		
四	第四號	イ		0/1			3/1	2/0		1/0 0/1 5/5	一二	〇、五七
五	同	ロ			0/1		1/0					
六	同	ハ										
一四	同				1/0					3/6	三一	五、一六
一五	同				2/1					2/2		
一六	同					1/0			1/1	2/1		
一七	同				1/0	1/1			0/1	0/2		
一八	同									3/4		
									0/1			
									1/0			
									1/1			
									0/1			
									2/0			

五〇

（第三二表）

成績（其三）　七月十四日調製　同日施行

但シ液ハ砂糖液二十倍液八〇、酒一〇、酢一〇ノ混合セルモノ

番號	容器	月日	七、一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	合計	雌雄合計	一日一個平均
七	第一號	イ						0/1										
八	同	ロ																
九	同	ハ																
一〇	第二號	イ																
一一	同	ロ																
一二	同	ハ																
一三	第六號	イ						0/1										
一四	同	ロ			1/0													
一五	同	ハ																
一六	同	イ						0/1										
一七	同	ロ																
一八	同	ハ																
										1/0								
										0/1								
										0/1								
										1/1								
										0/1								
										1/0								
										0/1								
										1/0								
										2/0								
										1/0								
										0/1								
										1/0								
										2/2								
										2/1 0/2 7/3 〇 3/0 1/3								
										〇 〇 4/3								
										〇 〇 0/1								
										一四								
										七								
										一								
										〇、五〇								
										〇、三三								
										〇、〇四								
一	第三號				0/1			2/0			0/1	2/1	1/0	0/1		5/4		

（第三三表）

成績（其四）　八月五日調製　同日施行

液ハ前者ニ準ズ。

番號	容器	月日	八、六	七	八	九	一〇	一一	一二	合計	雌雄合計	一日一個平均
二	同											
三	同											
四	第四號		2/0									
五	同		1/1									
六	同		2/0									
七	第一號		1/0									
八	同											
九	同											
一〇	第二號		1/0									
一一	同		0/1									
一二	同		1/1									
一三	第六號		0/1									
一四	同											
一五	同											
			12/10	1/1			1/0	3/1	1/0	5/1	三七	〇、九六
			3/3	4/2	3/3	3/0					一五	〇、三八
			1/1	3/1							一一	〇、三〇
			2/0	0/1							三	〇、〇七
乾							2/0					
同				1/2	0/1					0/1		
同	0/1			1/0	1/0					0/2		
同	乾	乾								3/1		
同	同	同			1/0		1/1			3/1	1/0	
同	同	同				1/0				1/1	1/0	

（第三四表）

成績（其五）　八月十六日調製　同日施行

番號	容器	月日	八、六	七	八	九	一〇	一一	一二	合計	雌雄合計	一日一個平均
一	第三號			0/1			1/0					
二	同		1/0									
三	同		1/1	0/1		0/1						
四	第四號			0/1			0/1					
五	同				1/0							
六	同						2/3					
七	第一號		0/1					1/1				
八	同											
九	同						0/1					
一〇	第二號						1/0					
一一	同		1/0									
一二	同								1/1			
一三	第六號			1/0								
一四	同		0/2									
一五	同		3/0									
			2/3	7/3	3/1						二二	〇、九〇
			1/0	0/2							一一	〇、五二
			3/5								三	〇、一四
				0/1	1/1							
			2/2								七	〇、三三
			1/1									
			1/0								二〇	〇、九三
乾												
同												
同												
同	乾	乾										
同	同	同										
同	同	同										

（第三五表）

但シ液ハ同前

番號	容器	八、一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	合計	雌雄合計	一日一個平均
一	第三號											
二	同											
三	同	1/1	1/1									
四	第四號	2/1						0/1	2/1			
五	同	2/3			1/5	1/2		0/1	0/1			
六	同		1/1				0/1					
七	第一號											
八	同											
九	同				0/1	1/0			1/0			
一〇	第二號	1/4	2/0									
一一	同	1/3	1/1					0/1				
一二	同	1/0	0/1		0/1							
一三	同	1/1	1/3		2/0	2/3	1/0					
一四	第六號											
一五	同			1/2								
一六	同			1/1								
合計		7/7	4/4	2/3	1/5	1/2	0/1	0/1	1/0			
雌雄合計		一五			三							
一日一個平均		〇、六二			〇、一二		〇、九一					

成績（其六）　九月一日調製　同日施行

但シ液同前ナルモ一%ノさるちる酸ヲ加フ。

番號	容器	九、二	三	四	五	六	合計	雌雄合計	一日一個平均
一	第三號	2/0	0/1		2/1		4/2	一二	一、〇〇
二	同	1/0		2/0			3/0		
三	同	0/1		0/1	0/1		0/3		
四	第四號	2/2		1/4	0/1		2/5	一五	一、二五
五	同	1/0		0/2			1/2		
六	同	1/0					0/1		
七	第一號	0/1							
八	同						○	一	〇、〇八
九	同						○		
一〇	第二號（但屋根ナシ）		0/1		1/0		1/0	四	〇、三三
一一	同						0/1		
一二	同	1/0		0/1			1/1		
一三	同								
一四	第六號								
一五	同								
一六	同								
一七	第八號	1/1	0/3	2/0	4/2				
一八	同					1/0	1/0	一五	〇、九二
合計		6/2	3/4						
雌雄合計		一五							
一日一個平均		〇、九二							

（第三六表）

（四）毒劑加用ニ關スル試驗

目的　從來ノ經驗ニヨレバ一度食餌ニ入リシモノハ再ビ飛ビ去ルコト少ナキガ如シト雖モ防黴ヲ兼ネテ其ノ効果ヲ知ラントス。

方法　同前

成績　八月十日調製　同日施行

但シ砂糖液二十倍液八〇、酒一〇、酢一〇ヲ混合セルモノニ各種毒劑ヲ加用ス。容器第二號

（第三七表）

番號	毒劑量（百瓩ニ付）	月日	一三	一四	第八號	同
一	さりちる酸〇、五瓦	八、二	5/6	0/5	0/1	0/1
二	同	一二	1/3	0/1	1/1	0/1
三	同	一三	1/5	3/1	2/0	
四	ふおるまりん二瓩	一四	2/2	0/1	2/0	0/1
五	同	一五	1/1	0/1	5/1	0/3
六	同	一六	3/1	2/1	〜	〜
合計		一七	15/15	15/8	九	九
雌雄合計		一八	6/7	6/3		
一日一個平均		一九	5/9	3/2		
		二〇	〇、九〇	〇、六〇		

（第三八表）

番號	毒劑量（百瓩ニ付）	月日	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四
一	一千倍昇汞水二瓩	八、二		1/1	4/2				2/2	0/2	0/2		0/1							
二	同	一二			2/0				5/5	3/4	2/1	1/0	2/0	0/3						
三	同	一三							1/0	1/0	1/0				1/1					
四	同	一四	0/2		5/3				1/0	1/1	1/1	1/0	0/1		3/0					
五	同	一五		3/6	2/2				3/1		1/0		1/0		1/3	3/0				
六	同	一六													3/0	3/1				
合計		一七		1/4	0/1											0/1				
雌雄合計		一八														0/3				0/1
一日一個平均		一九															0/1			
		二〇															1/0			
		二一	1/0																	
		二二	1/0									1/0								
		二三		0/1				0/2												
		二四		1/3				1/0	1/0											
		合計	2/2	7/15	13/8	○	2/1	1/2	12/8	5/7	5/4	2/0	4/2	0/3	8/4	6/5	1/1	1/2	9/7	3/2
		雌雄合計		四七			六			四一			一一		二三		五		二一	
		一日一個平均		一、二			〇、一四			〇、九七			〇、二六		〇、八三		〇、一七		〇、七五	

（五）長期利用ニ關スル試驗

目的　從來ノ方法ニヨル時ハ數日乃至十數日ヲ經ル時ハ蒸發濃縮サレ且乾燥ス。故ニ數日乃至十數日毎ニ液ヲ更新スル手數ヲ要スルヲ以テ大ナル容器ヲ使用シソノ煩雜ヲ免ントス。

方法　容量約五百瓩ノ硝子器（第五號容器）ニ液ヲ更新スルコトナク梨園ニ吊シ置キ毎朝誘引蛾數ヲ調査ス。容器ニハ屋根ナキヲ以テ降水ノ際往々ニシテ溢レシコトアリシ。

成績　五月十日ヨリ七月二十日迄

番號	液種類 ＼ 期間 ＼ 月旬	五月中旬 一〇日間	五、下 二	六、上 一〇	六、中 一〇	六、下 一〇	七、上 一〇	七、中 一〇	合計 七一	雌雄合計
一	砂糖液十倍液									
二	貯藏液第三號十倍液	1/0	1/0	1/0	0/1	1/0	1/1	1/1	3/5	八
三	蜂蜜十倍液					5/3	6/4	6/0	3/0	三
四	砂糖液十倍液三〇、酢一〇	2/1			1/0		2/1		6/4	一〇
五	砂糖液十倍液三〇、あるこーる二、酢一〇	1/0				1/0			2/0	二

（第三九表）

（六）天候並ニ期節ト誘殺數

目的　天候ト食餌ノ効果並期節ト發生狀況ヲ知ラントス。

方法　砂糖液二十倍八〇瓩、酒一〇瓩、酢一〇瓩ヲ混合セル液ヲ毎日取換フ。容器第六號

成績

番號 ＼ 期間 ＼ 月旬	七月中旬 五	七、下 一一	八、上 一〇	八、中 一〇	八、下 六	九、上 五	合計 四七	雌雄合計	一日一個平均
一	2/2	8/6	10/9	5/7	4/5	1/2	30/31	六一	一、二九
二	○	6/0	7/8	19/12	11/8	5/4	48/32	八〇	一、七〇
合計	2/2	14/6	17/17	24/19	15/13	6/6	78/63	一四一	一、五〇
雌雄合計	4	20	34	43	28	12	141		
一日一個平均	〇、四〇	〇、九〇	一、七〇	二、一五	二、一六	一、二〇	一、五〇		

（第四〇表）

（七）食餌誘殺ノ効力

目的　食餌ハ野外ニ於テソノ幾割ヲ誘殺シ得ルヤニツキ知ラントス。

方法　大形飼育箱ニ食餌器ヲ吊シ蛾ヲ放チ毎日誘引數ヲ調査ス。液ハ梨果汁二倍液ヲ用フ。

成績（其一）　七月四日ヨリ七月二三日迄

放飼月日	放飼頭數	誘殺月日	誘殺頭數
七、四	雌一	六、三〇	雌一
同	雄一	七、一	雄一
同	同一	七、三	七、一二
		七、七	同三
		七、一二	同五

	七、五	雌四	雄一	七、四	七、一三	同一	雄二
	同四	同一		七、五	七、一四	同三	
	七、一一	同一		七、八	七、一六	同一	雄一
		雌二	同三	七、九	七、二〇	同一	
	七、一二	同四	同二	七、一一			
	同三	同三		七、一二			
	七、一八	同一	同一	七、一六			
	同九	同一八		七、一八			
	七、二一	同七	同七				
合計		雌三八	雄三三			雌一五	雄五
誘殺歩合						雌三、四七	雄一八、一八

備考　七月十一日ニ液ヲ入レ換ヘ七月十八日ニ砂糖液二〇倍液八〇、酒一〇、酢一〇ノ混合液ト入レ換フ。
飼育箱ハ間口一間、奥行一、五間、高一、二間、食餌器ハ第六號ヲ三個使用ス。

成績（其二）　七月二三日ヨリ八月一〇日迄

（第四一表）

放飼月日	放飼頭數	羽化月日	誘殺月日	誘殺頭數
七、二三	雌六　雄二	七、二四	七、二五	雌二　雄一

	七、二四	同三	同四	七、二四	七、二七	同二	同一
	七、二六	同四	同七	七、二六	七、二八	同四	
	八、一	同二	同一	八、一	七、二九	同二	
					八、五		雄二
合計		雌二〇	雄一九			雌一〇	同四
誘殺歩合						雌五〇、〇〇	雄一五、七九

備考　液ハ砂糖液二〇倍液八〇、酒一〇、酢一〇ノ混合物ニテ容器ハ第六號ヲ使用ス。

成績（其三）　八月一七日ヨリ八月三〇日迄

（第四二表）

放飼月日	放飼頭數	羽化月日	誘殺月日	誘殺頭數
八、一七	雌一七　雄三	八、一七	八、一八	雌〇　雄一
八、一八	同二　同六	八、一八	八、一九	同一　同一
八、一九	同八　同一	八、一九	八、二三	同一　同〇
八、二七	同七　同五	八、二七	八、二九	同二　同〇
合計	雌三四　雄一五			雌四　雄二
誘殺歩合				雌二、七六　雄二三、三

備考　液並ニ容器ハ前同樣

（第四三表）

概評　以上ノ成績ヲ見ルニ次ノ結論ヲ得。

(1) 食餌ノ種類ニ於テハ果汁並ニ砂糖液ニ多ク集ル。就中砂糖液ニ酒並ニ酢ヲ加ヘタルモノハ効多シ。

(2) 濃度　果汁ハ二—五倍液、糖蜜ハ一〇—一五倍液ガ適當ナルガ如シ。

(3) 容器ハ硝子若クハ陶磁器ニシテ相當ノ深ミト表面積ヲ有スルモノ若クハ硝子蠅取器等ヨロシ。

(4) 毒餌加用ニ關スル試驗ノ回數少ナキモさりちる酸ヲ加用セルモノ最モ効多ク石炭酸、すとりきねー、ふおるまりん等ハ少シ。

(5) 巨大ナル容器ニ液ヲ入レ長期間利用スルモヨロシ。

(6) 七月中旬ヨリ九月上旬中ニテハ八月下旬ニ最モ誘殺數多ク七月中旬最モ少シ。

(7) 放飼セル蛾ノ半數ヲ誘殺シ得タリ。

(8) 雌雄ノ誘殺數略相半バス。

備考　容器ノ種類解説

第一號　亞鉛板製　百瓩入リ

第二號　硝子製　百瓩入リ

第三號　直徑三寸、高サ五寸ノ硝子圓筒　七百瓩入リ

第四號　直徑五寸、高サ一寸五分ノ硝子皿　四百瓩入リ

第五號　直徑四寸、高サ四寸五分ノ硝子圓筒　七百瓩入リ

第六號　陶器淺皿　百瓩入リ

第七號　同右茶碗　二百瓩入リ

第八號　硝子もぢり變型　二百瓩入リ

第九號　硝子製蠅取器　二百瓩入リ

乙　梨葉捲蟲ニ關スル試驗

(一)　梨葉捲蟲殺卵試驗

目的　梨葉捲蟲ノ卵ヲ殺ス適當ナル藥劑ヲ知ラントス。

方法　樹幹等ニ附着セル卵塊ヲ樹皮ノ一部ト共ニ削リ取リ藥液ヲ撒布シ飼育室ニ放置ス。

施行月日　二月十七日並二十日(松脂合劑ハ三月十七日)

調査月日　五月十七日、一區四卵塊

供試蟲名　くはいとひきはまき

成績(其一)

區名	藥劑名(配合量並ニ濃度)	供試總卵數	孵化卵數	死卵數	死卵歩合
一	石灰硫黄合劑(ぼーめー比重五度液一石ニ付かぜいん石灰三〇匁)	二〇二	六一	一四一	六九、八〇
二	松脂合劑(松脂八〇匁、苛性曹達六〇匁、水一升) 一〇倍	三二五	二九	二九六	九一、〇八
三	硫酸にこちん(硫酸にこちん一〇〇倍液一石ニ付石鹸二封度) 石鹸液	三一〇	六三	二四七	七九、六八
四	同　右　七〇〇倍	二四〇	九一	一四九	六二、〇八
五	機械油乳劑(びーましん一升、水一升、石鹸五〇匁) 五倍	一九六	〇	一九六	一〇〇、〇〇
六	同　右　一〇倍	二九九	〇	二九九	一〇〇、〇〇
七	同　右	二三二	三五	一九七	八四、九二
八	同　右	二四三	六四	一七九	七三、六六
九	ぼるく	三四〇	五	三三五	九八、五三
一〇	同　右	一七四	〇	一七四	一〇〇、〇〇
一一	あでかおいる	三一一	一三〇	一八一	五八、二〇
一二	同　右	二九〇	五一	二三九	八二、四一
一三	すぶれーおいる	二四六	七八	一六八	六八、二九
一四	同　右	三〇五	一二四	一八一	五九、三五
一五	すけーるですとろいやー	一七九	二八	一五一	八四、三七
一六	同　右	二一八	二	二一六	九九、〇八
一七	すけーるさいど	二六九	四四	二二五	八三、六四
一八	同　右	一五〇	四三	一〇七	七一、三三
一九	ころいど硫黄合劑	二三五	六六	一六九	七一、九二
二〇	標準區	一六四	一〇九	五五	三三、五三

(第四四表)

概評　以上ノ成績ニヨレバ機械油乳劑五倍、同十倍、ぼるく、松脂合劑等ハ結果ヨロシキモ石灰硫黄合劑等ハ不良ナリ。而シテ機械油乳劑等ヲ撒布セバ葉捲蟲卵ヲ殺シ得ルノミナラズ同時ニ介殼蟲類並ニ赤蝨等ヲモ驅除ノ効果アリ。

露光量違いの為重複撮影

施行月日　三月三十一日
調査月日　五月二十二日
供試蟲名　同前、一區三卵塊

成績（其二）

區名	藥劑名（配合量並ニ濃度）	供試總卵數	孵化卵數	死卵數	死卵歩合
一	硫酸にこちん石鹸液（一〇〇〇倍液一石ニ石鹸二封度）	九三	三一	六二	六六、六六
二	砒酸鉛石灰液（砒酸鉛一、五封度、生石灰一封度、かぜいん石灰三〇匁	一八四	一一	一七三	九四、〇二
三	石灰ぼるどう液（二斗五升式）	一九七	一五	一八二	九二、一八
四	一〇〇〇倍硫酸にこちん加用二斗五升式石灰ぼるどう液	一五四	四九	一〇五	六八、一八
五	砒酸鉛（一、五封度）加用二斗五升式石灰ぼるどう液	一六三	一八	一四五	八八、九〇
六	一〇〇〇倍硫酸にこちん加用砒酸鉛石灰液	二八七	五	二八二	九八、二六
七	一〇〇〇倍硫酸にこちん、砒酸鉛（一、五封度）加用二斗五升式石灰ぼるどう液	一二六	三五	九一	七二、二二
八	標準區	六〇	三二	二八	四六、六七

（第四五表）

概評　回數少ナキモ第六區最モ成績良好ニシテ第二區、第三區、第五區之ニ次ギ第七區ハ最モ劣レリ。

農用藥劑ノ部

露光量違いの為重複撮影

施行月日　三月三十一日
調査月日　五月二十二日
供試蟲名　同前、一區三卵塊

成績（其二）

區名	藥劑名（配合量並ニ濃度）	供試總卵數	孵化卵數	死卵數	死卵歩合
一	硫酸にこちん石鹸液（一〇〇〇倍液一石ニ石鹸二封度）	九三	三一	六二	六六、六六
二	砒酸鉛石灰液（砒酸鉛一、五封度、生石灰一封度、かぜいん石灰三〇匁）	一八四	一一	一七三	九四、〇二
三	石灰ぼるどう液二斗五升式）	一九七	一五	一八二	九二、一八
四	一〇〇〇倍硫酸にこちん加用二斗五升式石灰ぼるどう液	一五四	四九	一〇五	六八、一八
五	砒酸鉛（一、五封度）加用二斗五升式石灰ぼるどう液	一六三	一八	一四五	八八、九〇
六	一〇〇〇倍硫酸にこちん加用砒酸鉛石灰液	二八七	五	二八二	九八、二六
七	一〇〇〇倍硫酸にこちん、砒酸鉛（一、五封度）加用二斗五升式石灰ぼるどう液	一二六	三五	九一	七二、二二
八	標準區	六〇	三二	二八	四六、六七

（第四五表）

概評　回數少ナキモ第六區最モ成績良好ニシテ第二區、第三區、第五區之ニ次ギ第七區ハ最モ劣レリ。

農用藥劑ノ部

丙　農用藥劑ニ關スル試驗

一、砒酸鉛ニ關スル試驗

目的　砒酸鉛ノ効力並ニ藥害ノ有無及ビソノ程度ヲ知ラントス。

(一)撒粉ニ關スル試驗

(イ)附加劑ノ種類ト効力ニ關スル試驗

方法　食草ニ砒酸鉛撒粉劑ヲ撒粉シ蟲ヲ放チ硝子皿ニ入レ飼育室ニ置ク。

成績（其一）

施行月日　四月十九日

供試蟲名　なしひめめくひざうむし(假稱)

區名	配合量(重量)	調査月日	死蟲數					供試頭數	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
			四・三	二五	二六	二七	二九	五・二			
一	砒酸鉛五、細土九五		一	三	一	三	二	〇	一〇	〇	一〇〇
二	砒酸鉛五、細土八〇、硫黄一五		〇	三	〇	一	九	〇	一〇	一〇	一〇〇
三	同　二〇、消石灰一〇、硫黄七〇		四	三	二	一	〇	〇	一〇	一〇	一〇〇
四	同　一〇、同　九〇		四	二	〇	一	〇	〇	一〇	一〇	一〇〇
五	砒酸石灰一〇、消石灰九〇		二	六	〇	二	〇	〇	一〇	一〇	一〇〇

| | | |

備考　蛹化セルモノハ死蟲數中ニ計算セリ。

成績（其四）

施行月日　十一月十七日

供試蟲名　かぶらはばち幼蟲

一區頭數　二五頭

區名	配合量	調査月日	死蟲數						供試蟲數	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
			一一・一八	一一・一九	二〇	二一	二二	二四	二五			
一	砒酸鉛一、硅藻土九		○	五	一一	八	三	一	一	○	一	一〇〇
二	同　一、燒明礬九		○	八	八	二	五	二	二	○	二	一〇〇
三	同　一、白土　九		○	三	一五	三	二	二	二	○	二	一〇〇
四	同　一、粉煙草九		○	三	五	八	九	〇	〇	○	一	一〇〇
五	同　一、白陶土九		○	四	一六	五	〇	七	〇	○	一	一〇〇
六	同　一、消石灰九		○	〇	一	〇	七	一三	二	○	二	一〇〇
七	同　一、滑石粉九		○	八	九	七	〇	〇	〇	○	二	一〇〇
八	同　一、酸性白土九		○	三	一二	四	四	一	一	○	三	一〇〇
九	弗化硅酸曹達　一、白陶土九		二	二	六	六	六	三	一	○	一	一〇〇
一〇	弗化曹達一、同　九		五	七	〇	二	二	一	〇	○	二	一〇〇
一一	砒酸石灰一、同　一四		○	一五	一	一	四	二	二	○	二	一〇〇
一二	標準區		○	○	○	一	〇	〇	一	○	二	一〇〇

（第四九表）

成績（其五）

施行月日　十一月十八日

供試蟲名　かぶらはばち幼蟲

區名	配合量	調査月日	死蟲數						供試蟲數	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
			二一・一九	二〇	二一	二二	二四		二五			
一	砒酸鉛一、硅藻土九		○	三	一六	四	四		二五	○	二五	一〇〇
二	同　一、燒明礬九		二	四	一二	二	三		二五	○	二五	一〇〇
三	同　一、白土　九		○	八	九	三	四		二五	一	二四	一〇〇
四	同　一、粉煙草九		○	四	一七	二	〇		二五	○	二五	一〇〇
五	同　一、白陶土九		三	三	五	八	八		二三	二	二五	九二
六	同　一、消石灰九		○	二	六	六	一二		二五	○	二五	一〇〇
七	同　一、滑石粉九		○	七	三	六	八		二五	○	二四	九六
八	同　一、酸性白土九		○	八	五	一一	一一		二五	○	二四	九六
九	ふろらいど一、白陶土九		○	一二	九	一〇	〇		二五	○	二四	九六
一〇	弗化曹達　一、同　九		○	一六	六	三	三		二五	○	二五	一〇〇
一一	砒酸石灰　一、同　一四		○	一四	一〇	〇	〇		二五	一	二四	九六
一二	標準區		○	○	一	四	〇		二五	○	二五	一〇〇

（第五〇表）

施行月日　十一月二十二日
供試蟲名　かぶらはばち幼蟲
一區頭數　二〇頭
直徑三寸ノ硝子皿ヲ用フ。

| 區名 | 配合量 | 調査月日 | 死蟲數 | | |

以上諸成績ヲ總括表示スレバ次ノ如シ。

月日	死蟲歩合					
供試蟲名	四月一九日 なしめくひざうむし	五・一二 もんしろてふ幼蟲	一一・一七 かぶらはばち幼蟲	一一・一八 同上	同上	同上
配合量						
砒酸鉛一、硅藻土九	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
同 一、燒明礬九			一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
同 一、白土 九		一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	九二
同 一、粉煙草九	一〇〇		一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
同 一、白陶土九	一〇〇	一〇〇	一〇〇	九二	一〇〇	一〇〇
同 一、滑石粉			一〇〇	九六	一〇〇	一〇〇
同 一、消石灰九		五〇	八八	一〇〇	一〇〇	六四
同 一、酸性白土九			一〇〇	九六	一〇〇	九二
ふろらいと一、白陶土九			一〇〇	九六	一〇〇	一〇〇
弗化曹達 一、同 九			九六	九六	一〇〇	一〇〇
砒酸石灰 一、同 一四			一〇〇	一〇〇	九〇	一〇〇
標準區			一六	二〇	四〇	七六

概評　以上ノ諸成績ヲ通覽スルニ消石灰ハソノ効少シク劣ルモ他ハ略等シ。

（ロ）附着力ニ關スル試驗

（第五三表）

方法　小型撒粉器ニテ早朝梨苗木ニ撒粉シ肉眼ニテ附着ノ良否ヲ測定セリ。

成績（其一）　四月十九日施行

區名	配合（重量）	梨品種	成績
一	砒酸鉛 五 細土 九五	不詳	不良
二	同 五 同 九五	きーふあ	同
三	同 五 硫黄華 一五	不詳	同
四	同 五 同 一五	支那梨	同
五	同 二〇 消石灰 一〇	長十郎	稍良
六	同 二〇 同 一〇	早生赤	同
七	同 一〇 同 七〇	長十郎	良
八	同 一〇 同 九〇	晩三吉	同
九	砒酸石灰 一〇 同 九〇	長十郎	同
一〇	同 一〇 同 九〇	晩三吉	同
一一	同 一〇 同 七〇	長十郎	同
一二	同 一〇 硫黄華 二〇	晩三吉	同
一三	砒酸鉛一、五封度、生石灰一、五封度、かぜいん石灰三〇匁、水一石	早生赤	同
一四	同	明月	同

（第五四表）

成績（其二）　四月十九日施行

區名	配合量（重量）		梨品種	成績
一	砒酸鉛	一	早生幸藏	良
二	同	一	博多青	稍良
三	同	一	不詳	同
四	同	一	萊陽慈梨	同
五	同	一	十郎	同
六	同	一	市原早生	良

（第五五表）

（八）粉劑並液劑ノ効力比較試驗

方法　粉劑並ニ液劑ヲ食草ニ撒布（粉）シ硝子皿ニ入レ害蟲ヲ放チ死蟲數ヲ調査ス。

成績（其一）

施行月日　十二月二日

供試蟲名　かぶらはばち幼蟲

一區頭數　二五頭

區名	配合量	調査月日 三・三	四日	死蟲數 五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	砒酸鉛五封度、生石灰一、五封度、かぜいん石灰三〇匁、水一石	〇	五	三	二	一	三	五	〇	一	二	三	二三	八八

成績（其二）

施行日日　同前

供試蟲名並一區頭數　同前

區名	配合量			調査月日 三・三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
二	砒酸鉛〇、四、白土九九、六			〇	三	一	二	一	〇	八	五	一	五	〇	二五	一〇〇
三	同	一、同	九九	〇	二	〇	一	二	〇	〇	七	四	二	二	二三	九二
四	標準區			〇	一	〇	一	〇	〇	〇	五	二	一	一	一一	四四

（第五六表）

成績（其三）

施行月日其他同前

區名	配合量			調査月日 三・三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	同前			〇	四	三	三	三	二	五	三	一	三	三	二三	九二
二				〇	一	〇	〇	〇	二	三	二	三	四	六	一九	七六
三				〇	三	三	三	七	〇	三	三	四	一	〇	二五	一〇〇

（第五七表）

| | | |

成績（其三）

施行月日　十一月二十一日

供試蟲名並頭數　同前

區名	配合量	調査月日	二・三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	二	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	同前	死蟲數	一	二	〇	四	一	二	五	四	二	一	三	二二	八八
二			一	一	三	三	三	三	二	二	一	一	四	二五	八四
三			〇	一〇	一	三	〇	〇	三	一	二	二	一	二一	九二
四			〇	二	二	二	二	二	四	一	一	一	二	二四	九六
五			〇	一	三	一〇	一	二	五	〇	一	一	三	二三	九二
六			〇	二	三	二	一	一	一	〇	一	一	四	二二	八八
七			〇	三	〇	一〇	五	六	四	〇	一	一	四	二二	八八

（第六〇表）

區名	配合量	調査月日	二・三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	二	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	同前	死蟲數	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二二	一〇〇
二			〇	〇	三	五	三	二	〇	二	一	〇	〇	二五	一〇〇
三			〇	二	〇	七	二	一一	七	二	二	〇	一	二四	九六
四			〇	二	一〇	九	一一	七	九	一〇	一	〇	〇	二五	一〇〇
五			〇	一	〇	一	二	一	〇	〇	二	〇	〇	二五	一〇〇
六			〇	〇	一	二	〇	〇	一	二	〇	〇	〇	二五	一〇〇
七			〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	三	一二

成績（其四）

施行月日　十一月二十八日

供試蟲名　同前

一區頭數　二〇頭

區名	配合量	調査月日	二・二七	二八	二九	三〇	三・二	二	三	四	五	六	七	八	九	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	同前	死蟲數	〇	四	二	二	二	一	一	四	〇	一	一	一	〇	〇	二〇	一〇〇
二			〇	五	四	三	〇	〇	一	二	〇	二	一	一	一	〇	二〇	一〇〇
三			〇	五	〇	四	一	一	一	四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二〇	九〇
四			〇	六	六	一	〇	〇	〇	二	三	四	二	三	二	〇	二〇	一〇〇
五			〇	二	五	五	〇	〇	〇	一	一	二	〇	二	〇	〇	二〇	一〇〇
六			〇	〇	二	一	二	二	二	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	二〇	一〇〇
七			〇	〇	二	四	五	〇	〇	一	二	二	一	一	一	〇	二〇	一〇〇
八			〇	〇	二	六	一	一	一	二	一	一	一	一	一	〇	二〇	一〇〇

（第六一表）

區名	配合量	調査月日	二・二七	二八	二九	三〇	三・二	二	三	四	五	六	七	八	九	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	同前	死蟲數	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二〇	一〇〇
二			〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二〇	一〇〇
三			〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二〇	一〇〇
四			〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二〇	一〇〇
五			〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二〇	一〇〇
六			〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二〇	一〇〇
七			〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二〇	一〇〇
八			〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二〇	一〇〇

（第六二表）

概評　試驗回數少ナク結論ヲ得ズ。

二、弗化硅酸曹達ニ關スル試驗

弗化硅酸曹達ノ効力並ニ藥害ノ有無ノ程度ヲ知ランガ爲メ次ノ如キ試驗ヲ行ヘリ。

(一) 毒劑並ニ接觸劑トシテノ効力試驗

目的　元來弗化硅酸曹達ハ毒劑ニ屬スベキモノナレドモ北米合衆國ニ於テえむ・あーる・おすばーん氏等ノ試驗成績ニヨレバ毒劑ノ外接觸劑並ニ忌避劑トシテノ効力アリト稱セラル、ガ故ニ之ニ關シテ試驗ヲ行ハントス。

方法　毒劑區ハ甘藍ノ葉ニ撒粉シ後供餌、接觸劑區ハ蟲體ニ撒粉セル後新シキ葉ヲ供與ス。

成績　五月十三日施行

區別		配合量(重量)	生存蟲數	死蟲數	喰害歩合(大凡)	死蟲歩合
毒劑區	一	弗化硅酸曹達一、白陶土四	〇	七	一〇	一〇〇、〇〇
	二	同　一、同　九	〇	六	一〇	一〇〇、〇〇
	三	同　一、同　一四	〇	六	一〇	一〇〇、〇〇
	四	同　一、同　一九	〇	六	二〇	八五、七〇
接觸劑區	五	同　一、同　四	〇	七	一〇〇	一〇〇、〇〇
	六	同　一、同　九	四	三	一〇〇	四二、八〇
	七	同　一、同　一四	五	二	一〇〇	二八、五〇
標準區	八	同　一、同　一九	三	四	一〇〇	五七、一〇
	九	無撒粉	一	七	〇	〇

備考　蛹化セルモノハ生ニ計算ス。(以下同樣)

(第六三表)

(二) 附加劑ノ種類ニ關スル試驗

目的　附加劑トシテ有効ナルモノヲ檢知セントス。

方法　食草ニすぷれーニテ少シク水霧ヲカケ後撒粉シ後しやれー(主トシテ徑五寸、深サ一寸ノモノ使用ニ入レ飼育室ニ放置ス。

成績　(其ノ一)

施行月日　五月三十日

供試蟲名　ちやどくが

一區頭數　百頭

區名	藥劑配合量	調査月日	六・一	二	三	四	五	六	七	八	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	弗化硅酸曹達五、白陶土　九五		一五	九	〇	一六	四	一三	一七	一三	一三	八七	八七、〇〇
二	同　五、硅藻土　九五		一二	八	二	三	一二	一七	一〇	三四	一七	八三	八三、〇〇

三	同	五、消石灰	九五	三	〇	二	三五	五	一八	二六	八	九七、〇〇〇
四	同	五、滑石粉	九五	八	四	三	一五	二	一五	二	一七	四九	五一、〇〇〇	七八、三五
五	同	五、白土	九五	九	六	八	一五	六	二	五	一二	二一	七六	七七	八〇、二一
六	同	五、酸性白土	九五	三	六	三	二八	六	一五	九	九	一九	八	〇	一〇〇、〇〇〇
七	同	一、白陶土	四	一一	四	一四	四一	一一	一七	一	一	〇	九二	九二	九二、〇〇〇
八	同	一、同	九	一〇	一六	六	二四	一三	一二	一	〇	八	九二	一〇〇	一〇〇、〇〇〇
九	同	一、同	一四	二二	六	二	一九	一一	二七	二	二	三	九二	一〇〇	九二、〇〇〇
一〇	砒酸鉛	五、同	九五	五	一	二	二三	三六	二八	三	〇	二	一〇〇	一〇〇	一〇〇、〇〇〇
一一	水一石ニ付砒酸鉛一八〇匁、生石灰一八〇匁、かぜいん石灰三〇匁			八	七	一二	五二	六	五	〇	一〇	〇	九〇	一〇〇	九〇、〇〇〇
一二	弗化曹達	五、白陶土	九五	七	三	一	二四	三八	六	一	一〇	一一	九〇	九〇	九〇、〇〇〇
一三	弗化硅酸曹達五、炭酸まぐねしうむ		九五	九	一	二四	一五	五	三一	一五	一七	三	一〇	二	九八、〇〇〇
一四	同	五、焼明礬	九五	一二	二	〇	一二	二	一五	二	一七	一〇	一一	一〇	五五、〇〇〇
一五	標準區（無撒粉）			六	一〇	一	二六	九	七	四	〇	三八	六二	六二	六二、〇〇〇

（第六四表）

備考　逸逃セルモノハ計算セズ。（以下同様）

成績（其ノ二）

施行月日　六月十八日

供試蟲名　うりはむし（瓜守）

一區頭數　五頭

成績（其ノ三）

區名	藥劑配合量	調査月日	六・二九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	弗化硅酸曹達五、白陶土	九五	一	三	一	〇	〇	〇	〇	〇	五	一〇〇、〇〇〇
二	同 五、硅藻土	九五	〇	〇	〇	二	一	一	一	〇	五	一〇〇、〇〇〇
三	同 五、消石灰	九五	一	〇	〇	二	一	〇	〇	〇	五	一〇〇、〇〇〇
四	同 五、滑石粉	九五	二	一	二	一	一	〇	〇	〇	五	一〇〇、〇〇〇
五	同 五、白土	九五	四	一	一	一	一	一	一	〇	五	一〇〇、〇〇〇
六	同 五、酸性白土	九五	〇	二	二	一	一	一	一	〇	五	一〇〇、〇〇〇
七	同 一、白陶土	四	二	二	二	一	一	一	一	〇	五	一〇〇、〇〇〇
八	同 一、同	九	一	一	一	一	一	一	一	〇	五	一〇〇、〇〇〇
九	同 一、同	一四	一	二	一	一	一	一	一	〇	五	一〇〇、〇〇〇
一〇	砒酸鉛	五、同	九五	三	〇	〇	〇	〇	一	一	四	八〇、〇〇〇
一一	水一石ニ付砒酸鉛一八〇匁、生石灰一八〇匁、かぜいん石灰三〇匁			〇	二	一	一	一	一	〇	五	一〇〇、〇〇〇
一二	弗化曹達	五、白陶土	九五	一	四	一	一	一	一	〇	五	一〇〇、〇〇〇
一三	弗化硅酸曹達五、炭酸まぐねしうむ		九五	一	〇	一	一	一	一	〇	五	一〇〇、〇〇〇
一四	同	五、焼明礬	九五	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	五	一〇〇、〇〇〇
一五	標準區（無撒粉）			〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

（第六五表）

施行月日　六月二十日
供試蟲名　もんしろてふ幼蟲
一區頭數　三十頭

區名	藥劑配合量	調査月日	六・二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	弗化硅酸曹達五、白陶土	九五	九	四	一〇	四	五	三	二		三	二七	九〇、〇〇
二	同	五、硅藻土 九五	一	一〇	五	四	二	〇	二	一	七	二三	七六、六七
三	同	五	四	〇	四	二	〇	三	二	一	一三	一七	五六、六七
四	同	五	八	一	九	四	一				七	二三	七六、六七
五	同	五	八	一	一〇	八					三	二七	九〇、〇〇
六	同	五	三	一	六		五				六	二四	八〇、〇〇
七	同	一、白陶土 四	二七	一	一	一					一	二九	九六、六七
八	同	一、同	一二	一	九	六	二				二	二八	八三、三三
九	同	一、同	一六	三	六	二	一				四	二六	八六、六七
一〇	砒酸鉛	五、同	一二	二	一二	一	一				三	二七	九〇、〇〇
一一	水一石ニ付砒酸鉛一八〇匁、生石灰一八〇匁、かぜいん石灰三〇匁		一	一	八	五	二				三	二三	七六、六七
一二	弗化曹達	五、白陶土 九五	二	一	一六	一二	二				三	二七	九〇、〇〇
一三	弗化硅酸曹達五、炭酸まぐねしうむ 九五		四	一	三	六	〇				四	二六	八六、六七
一四	同	五、燒明礬 九五	六	一	一	九	一				二	二八	八三、三三
一五	標準區		〇	〇	〇	三	一	一	一		二四	六	二〇、〇〇

（第六六表）

成績（其ノ四）

施行月日　六月二十三日
供試蟲名　前同
一區頭數　一〇頭

區別	藥劑配合量	調査月日	六・二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	七・一	七・二	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	弗化硅酸曹達五、白陶土	九五	〇	三	四	二	一					〇	一〇	一〇〇、〇〇
二	同	五、硅藻土 九五	一	一	〇	一	〇	一	一	〇	一	二	八	八〇、〇〇
三	同	五、滑石灰 九五	一	〇	〇	〇	二	一	〇			三	七	七〇、〇〇
四	同	五、滑石粉 九五	二	四	一	三	三					〇	一〇	一〇〇、〇〇
五	同	五、白土 九五	一	二	二	五						〇	一〇	一〇〇、〇〇
六	同	五、酸性白土九五	一	一	一	三						〇	九	九〇、〇〇
七	同	一、白陶土 四	五	四	一							〇	一〇	一〇〇、〇〇
八	同	一、同 四	四	五	一							〇	一〇	一〇〇、〇〇
九	同	一、同 一四	二	二	四	二						〇	一〇	一〇〇、〇〇
一〇	砒酸鉛	五、同 九五	二	四	四							〇	一〇	一〇〇、〇〇

成績（其ノ五）

施行月日　七月四日

供試蟲名　葡萄どうがね

一區頭數　五頭

區別	藥劑配合量	調査月日	七月五日	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	弗化硅酸曹達五、白陶土 九五		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一〇〇、〇〇
二	同　五、硅藻土 九五		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一〇〇、〇〇
三	同　五、消石灰 九五		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一〇〇、〇〇
四	同　五、滑石粉 九五		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一〇〇、〇〇
五	同　五、白土 九五		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一〇〇、〇〇
六	同　五、酸性白土 九五		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一〇〇、〇〇
七	同　一、白陶土 四		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一〇〇、〇〇
八	同　一、同 九		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一〇〇、〇〇
九	同　一、同 一四		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一〇〇、〇〇
一〇	砒酸鉛　五、同 九五		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一〇〇、〇〇
一一	水一石ニ付砒酸鉛一八〇匁、生石灰一八〇匁、かぜいん石灰三〇匁		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一〇〇、〇〇
一二	弗化曹達　五、白陶土 九五		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一〇〇、〇〇
一三	弗化硅酸曹達五、炭酸まぐねしうむ 九五		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一〇〇、〇〇
一四	同　五、燒明礬 九五		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一〇〇、〇〇
一五	標準區		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一〇〇、〇〇

（第六七表）

成績（其ノ六）

施行月日　十月二十一日

供試蟲名　かぶらはばち幼蟲

一區頭數　二〇頭

區別	藥劑配合量	調査月日	二〇・二三	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	二・一	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	弗化硅酸曹達五、白陶土 九五		四	四	五	二	一	○	二					○	一八	一〇〇、〇〇
二	同　五、硅藻土 九五		○	五	一	四	三	二	二	○	一					
七	同　一、白陶土 四		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	五	八〇、〇〇
八	同　一、同 九		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	四	八〇、〇〇
九	同　一、同 一四		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	四	八〇、〇〇
一〇	砒酸鉛　五、同 九五		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	五	一〇〇、〇〇
一一	水一石ニ付砒酸鉛一八〇匁、生石灰一八〇匁、かぜいん石灰三〇匁		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	五	一〇〇、〇〇
一二	弗化曹達　五、白陶土 九五		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	四	八〇、〇〇
一三	弗化硅酸曹達五、炭酸まぐねしうむ 九五		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	四	八〇、〇〇
一四	同　五、燒明礬 九五		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	五	一〇〇、〇〇
一五	標準區		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	五	一〇〇、〇〇

（第六八表）

施行月日　十月二十四日

供試蟲名　前同

一區頭數　二十五頭

區別	藥劑配合量	調査月日	一〇・二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	二・一	二	三	四	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
三	同	五、消石灰 九五	二	〇	一	一	二	三	一	〇	〇	〇	〇	〇	二〇	一〇〇、〇〇
四	同	五、滑石粉 九五	四	一一	五	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二〇	一〇〇、〇〇
五	同	五、白土 九五	三	一〇	四	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二〇	一〇〇、〇〇
六	同	五、酸性白土九五	二	二	三	〇	五	〇	一	二	二	一	一	〇	二〇	一〇〇、〇〇
七	同	一、白陶土 四	一五	四	一	一	四	一	一	一	一	一	一	〇	一九	一〇〇、〇〇
八	同	一、同 九	五	九	二	〇	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二〇	一〇〇、〇〇
九	同	一、同 一四	一二	四	三	一	三	四	二	一	一	一	一	〇	二〇	一〇〇、〇〇
一〇	砒酸鉛 五、同 九五	一	六	四	四	四	四	三	二	二	二	二	二	〇	二〇	一〇〇、〇〇
一一	水一石ニ付砒酸鉛一八〇匁、生石灰一八〇匁、かぜいん石灰三〇匁	五	四	四	四	三	二	一	一	一	一	一	一	〇	二〇	一〇〇、〇〇
一二	弗化曹達 五、白陶土 九五	一二	四	三	三	一	〇	一	一	一	一	一	一	〇	二〇	一〇〇、〇〇
一三	弗化硅酸曹達五、炭酸まぐねしうむ 九五	〇	三	三	三	一	一	二	二	二	二	二	二	〇	二〇	一〇〇、〇〇
一四	同 五、燒明礬 九五	二	四	三	三	一	一	三	二	二	二	二	二	〇	二〇	一〇〇、〇〇
一五	標準區	〇	一	〇	〇	一	一	三	二	一	一	一	一	〇	二〇	一〇〇、〇〇

（第六九表）

區別	藥劑配合量	調査月日	一〇・二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	二・一	二	三	四	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	弗化硅酸曹達五、白陶土 九五	〇	一五	四	三	三	二	〇	一	三	〇	〇	一	〇	二五	一〇〇、〇〇
二	同 五、硅藻土 九五	一	二	〇	〇	一	二	一	二	二	二	二	二	〇	二五	一〇〇、〇〇
三	同 五、消石灰 九五	〇	〇	三	一	一	七	六	一二	一	一	一	一	〇	二五	一〇〇、〇〇
四	同 五、滑石粉 九五	一	一五	二	二	三	四	七	七	二	二	二	二	〇	二五	一〇〇、〇〇
五	同 五、白土 九五	六	八	三	三	一	六	一	一	一	一	一	一	〇	二五	一〇〇、〇〇
六	同 五、酸性白土九五	一	二	二	二	〇	四	四	二	二	二	二	二	〇	二五	一〇〇、〇〇
七	同 一、白陶土 四	七	一七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二五	一〇〇、〇〇
八	同 一、同 九	八	一七											〇	二五	一〇〇、〇〇
九	同 一、同 一四	〇	一四	三	三	二	二	一	二	一	一	一	一	〇	二五	一〇〇、〇〇
一〇	砒酸鉛 五、同 九五	三	二	九	七	七	二	二	二	二	二	二	二	〇	二四	一〇〇、〇〇
一一	水一石ニ付砒酸鉛一八〇匁、生石灰一八〇匁、かぜいん石灰三〇匁	二	一四	六	七	三	二	一	二	一	一	一	一	〇	二五	一〇〇、〇〇
一二	弗化曹達 五、白陶土 九五	六	一一	七										〇	二四	一〇〇、〇〇
一三	弗化硅酸曹達五、炭酸まぐねしうむ 九五	一	二	二	二	七	七	五	四	二	一	一	一	〇	二五	一〇〇、〇〇
一四	同 五、燒明礬 九五	〇	二	六	三	三	三	八	三	一	一	一	一	〇	二五	一〇〇、〇〇
一五	標準區	〇	〇	三	三	〇	九	〇	〇	三	二	二	二	四	二一	八四、〇〇

（第七〇表）

施行月日　八月五日
供試蟲名　まめこがね
一區頭數　五頭

成績（其ノ九）

施行月日　八月九日
供試蟲名　まめのこふきこくぞう
一區頭數　二〇頭

區別	藥劑配合量	調査月日 八、七	八	九	一〇	一一	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	弗化硅酸曹達五、滑石粉 九五	〇	三	〇	一	〇	〇	五	一〇〇、〇〇
二	同　五、消石灰 九五	〇	〇	〇	二	〇	〇	五	一〇〇、〇〇
三	同　五、燒明礬 九五	一	四	〇	〇	〇	〇	五	一〇〇、〇〇
四	同　一、白陶土 四	四	一	〇	〇	〇	〇	五	一〇〇、〇〇
五	同　一、同 九	四	一	〇	二	〇	〇	五	一〇〇、〇〇
六	砒酸鉛　五、白土 九五	一	〇	一	一	〇	〇	五	一〇〇、〇〇
七	標準區	〇	〇	三	〇	〇	〇	五	一〇〇、〇〇

（第七一表）

區別	藥劑配合量	調査月日 八、一〇	一一	一二、一三	一四	一五	一六	一七	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	弗化硅酸曹達五、滑石粉 九五	〇	六	一〇	二	一	一	〇	〇	二〇	一〇〇、〇〇
二	同　五、消石灰 九五	〇	〇	〇	四	二	七	五	二	一八	九〇、〇〇
三	同　五、燒明礬 九五	二	五	五	五	〇	三	〇	〇	二〇	一〇〇、〇〇
四	同　一、白陶土 四	一	六	八	五	〇	〇	〇	〇	二〇	一〇〇、〇〇
五	同　一、同 九	四	八	七	〇	一	〇	〇	〇	二〇	一〇〇、〇〇
六	砒酸鉛　五、白土 九五	〇	一	一二	三	一	一	一	一	一九	九五、〇〇
七	標準區	一	〇	〇	〇	〇	〇	一	一八	二	一〇、〇〇

（第七二表）

以上ノ諸成績ヲ總括表示スレバ次ノ如シ。

附加劑九五、弗化硅酸曹達五ノ割合

附加劑名	死蟲歩合 ちやごくが幼蟲	うりはむし	もんしろてふ幼蟲	もんしろてふ幼蟲	ごうがねぶんく	まめこふきぞうむし	かぶらはばち幼蟲	かぶらはばち幼蟲
白陶土	八九、〇〇	一〇〇、〇〇	七六、六七	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	—	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇
硅藻土	八三、〇〇	八〇、〇〇	七六、六七	八〇、〇〇	六〇、〇〇	—	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇
滑石粉	五一、〇〇	一〇〇、〇〇	七六、七六	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇
白土	七八、三五	一〇〇、〇〇	九〇、〇〇	一〇〇、〇〇	六〇、〇〇	—	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇

酸性白土	八〇、二一	一〇〇、〇〇	八〇、〇〇	一〇〇、〇〇	六〇、〇〇	—	九二、〇〇	一〇〇、〇〇
炭酸まぐねしうむ	九八、〇〇	一〇〇、〇〇	七三、三三	八〇、〇〇	六〇、〇〇	—	一〇〇、〇〇	八一、〇〇
燒明礬	五五、〇〇	一〇〇、〇〇	八六、六六	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇
滑石灰	九七、〇〇	一〇〇、〇〇	五六、六七	七〇、〇〇	六〇、〇〇	九〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇
標準區	六二、〇〇	〇	二〇、〇〇	六〇、〇〇	六〇、〇〇	一〇、〇〇	八四、〇〇	五〇、〇〇
砒酸鉛五、白陶土九五	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	九〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	九五、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇
一區供試頭數	一〇〇	五	三〇	一〇	五	二〇	二五	二〇
施行月日	五・三〇	六・一八	六・二〇	六・二三	七・四	八・九	一〇・二四	一〇・二二

（第七三表）

以上試驗概評ハ最後ニ記セリ。

（三）附加劑ノ附着力ニ關スル觀察

肉眼ニテ觀察セル結果ニヨレバ燒明礬、滑石粉、白土、白陶土、酸性白土ハ附着力ニ富ミ硅藻土、炭酸まぐねしやハ稍劣ル。

（四）濃度ニ關スル試驗

目的　弗化硅酸曹達ト附加劑トヲ混和スル場合最モ有効ナル割合ヲ檢知セントス。

方法　次表ノ如シ。

成績（其ノ一）

施行月日　八月八日

供試蟲名　もんしろてふ幼蟲

一區頭數　一〇頭

區別	藥劑配合量	調査月日 八・九	一〇	一一	一二	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	弗化硅酸曹達 一%	〇	一〇	〇	〇	〇	一〇	一〇〇、〇〇
二	同 二%	一	七	二	一	〇	一〇	一〇〇、〇〇
三	同 三%	一	八	一		〇	一〇	一〇〇、〇〇
四	同 五%	一	九			〇	一〇	一〇〇、〇〇
五	砒酸鉛 一%	〇	三	一	五	一	九	九〇、〇〇
六	同 二%	五	五			〇	一〇	一〇〇、〇〇
七	同 三%	三	七			〇	一〇	一〇〇、〇〇
八	同 五%	四	三	三		〇	一〇	一〇〇、〇〇
九	同（撒布劑） 二%	六	四			〇	一〇	一〇〇、〇〇
一〇	標準區	〇	二	三	一	四	六	六〇、〇〇

（第七四表）

備考　附加劑トシテ粉劑各區共白土ヲ使用セリ。
撒布劑區ハ水一石ニ付砒酸鉛一、五封度、生石灰等量、かぜいん石灰三〇匁ノ割合

成績（其ノ二）

施行月日　十一月八日
供試蟲名　前同
一區頭數　二〇頭

區別	薬劑配合量	調査月日	二・九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	弗化硅酸曹達 一%		〇	九	八	三					〇	二〇	一〇〇、〇〇〇
二	同 二		三	一〇	五	一	一				〇	二〇	一〇〇、〇〇〇
三	同 三		二	九	四	一	三	〇	〇	〇	一	一九	九五、〇〇〇
四	同 五		四	九	二	四	一	二			〇	二〇	一〇〇、〇〇〇
五	砒酸鉛 一		〇	二	六	四	六	一			〇	二〇	一〇〇、〇〇〇
六	同 二		〇	五	一〇	四	一	一			〇	二〇	一〇〇、〇〇〇
七	同 三		〇	九	三	七	一				〇	二〇	一〇〇、〇〇〇
八	同 五		一	四	九	五	〇	一			〇	二〇	一〇〇、〇〇〇
九	標準區		〇	〇	〇	〇					一	二	一〇、〇〇〇

（第七五表）

備考　附加劑トシテ粉劑各區共白陶土使用

成績（其ノ三）
施行月日　十月十二日
供試蟲名　前同

一區頭數　一五頭

區別	薬劑配合量	調査月日	一〇・二四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	弗化硅酸曹達 一%		一	三	二	二	四	一	〇	二	一三	八六、六七
二	同 二%		〇	五	三	〇	二	一	一	三	一五	八〇、〇〇〇
三	同 三%		九	三	二	〇	〇	〇	〇	一	一四	九三、三三
四	同 五%		七	三	二	〇	〇	〇	〇	三	一二	八〇、〇〇〇
五	砒酸鉛 一%		九	二	三	〇	〇	〇	〇	一	一四	九三、三三
六	同 二%		一一	二	二	一	〇	〇	〇	〇	一五	一〇〇、〇〇〇
七	同 三%		一三	〇	〇	一	一	〇	〇	〇	一五	一〇〇、〇〇〇
八	同 五%		五	三	〇	〇	一	〇	〇	六	九	六〇、〇〇〇
九	標準區		一	〇	〇	〇	八	〇	三	三	一二	八〇、〇〇〇

（第七六表）

備考　附加劑トシテ粉劑各區共白土ヲ使用セリ。
十三日調査セシモ死蟲ナシ。

成績（其ノ四）
施行月日　十月二十七日
供試蟲名　かぶらはばち
一區頭數　三〇頭

備考　附加劑トシテ白土ヲ使用セリ。

成績（其ノ五）

施行月日　十月三十一日

供試蟲名　前同

一區頭數　二〇頭

區別	配合量	調査月日	一〇・二六	二九	三〇	三一	二・一	二	三	四	五	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	弗化硅酸曹達	一%	○	○	一	三	四	四	二	四			○	一〇〇、〇〇
二	同	二	○	三	三	四	一四	二	四				○	一〇〇、〇〇
三	同	三	○	四	三	七	六	四	六				○	一〇〇、〇〇
四	同	五	三	九	九	一	四	四					○	一〇〇、〇〇
五	砒酸鉛	一	○	二	○	二	七	七	一四				一	九六、六七
六	同	二	○	○	二	五	七	三	一				○	一〇〇、〇〇
七	同	三	○	一	一	七	一	五	五				○	一〇〇、〇〇
八	同	五	○	三	五	一	六	三	六				○	一〇〇、〇〇
九	標準區		○	○	二	八	四	三	五				○	七六、六七

（第七七表）

備考　前同

成績（其ノ六）

施行月日　十一月八日

供試蟲名　前同

一區頭數　二〇頭

區別	配合量	調査月日	二・二	二	三	四	五	六	七	八	九	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	弗化硅酸曹達	一%	○	一	○	一	一	一	一	一	一	○	○	一〇〇、〇〇
二	同	二%	○	三	三	三	一	一	一	二	二	○	○	一〇〇、〇〇
三	同	三%	○	三	四	七	一	三	一	五	五	○	○	一〇〇、〇〇
四	同	五%	○	一〇	七	七	〇	〇	〇	八	一	○	一八	一〇〇、〇〇
五	砒酸鉛	一%	○	○	○	〇	三	三	三	八	四	○	○	一〇〇、〇〇
六	同	二%	○	○	一	二	四	三	五	一	二	○	○	一〇〇、〇〇
七	同	三%	○	四	四	〇	〇	〇	一	五	三	○	○	一〇〇、〇〇
八	同	五%	二	七	七	一	一	一	二	一	一	○	○	一〇〇、〇〇
九	標準區		○	○	○	一	一	一	一	六		○	九	五五、〇〇

（第七八表）

區別	配合量	調査月日	二月九日	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	弗化硅酸曹達 一%		三	一二	四	一					〇	二〇	一〇〇、〇〇〇
二	同		六	一	三	六					〇	二〇	一〇〇、〇〇〇
三	同		九	九	二						〇	二〇	一〇〇、〇〇〇
四	同		一四	五	一						〇	二〇	九〇、〇〇〇
五	砒酸鉛 一		〇	一	六	三	五	二	〇	一	二	一八	九〇、〇〇〇
六	同		〇	二	五	六	二	四			一	一九	九五、〇〇〇
七	同		〇	〇	三	一三	〇	三			一	一九	九五、〇〇〇
八	同		〇	〇	一	一一	二	五			一	一九	九五、〇〇〇
九	標準區		〇	〇	四	一	〇	二	〇		一	七	一五、〇〇〇

備考　附加劑トシテ白陶土ヲ使用セリ。

成績（其ノ七）

施行月日　十一月十二日

供試蟲名　前同

一區頭數　二五頭

（第七九表）

區別	配合量	調査月日	二月二日	二月三日	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	弗化硅酸曹達 一%		五	六	六	三	〇	〇	〇	四	一	〇	〇	〇	二五	一〇〇、〇〇〇
二	同		一二	三	二	〇	〇	一	七	〇	一	二	二	〇	二五	一〇〇、〇〇〇
三	同		三	二	一	〇	一〇	〇	七	一	〇	二	二	〇	二五	一〇〇、〇〇〇
四	同		三	一	〇	〇	〇	二	七	〇	六	〇	六	〇	二五	一〇〇、〇〇〇
五	砒酸鉛 一%		〇	二	二	一	三	一	八	二	三	四	八	一	二四	九六、〇〇〇
六	同		一	二	二	〇	〇	三	六	三	〇	二	〇	〇	二五	一〇〇、〇〇〇
七	同		二	一	一	〇	〇	六	五	二	二	〇	六	〇	二四	九六、〇〇〇
八	同		〇	二	二	二	一	五	九	一	二	二	〇	〇	二五	一〇〇、〇〇〇
九	標準區		〇	一	〇	〇	〇	一	二	〇	一	一	二	一二	一三	五一、二〇

備考　前同

成績（其ノ八）

施行月日　六月二十四日

供試蟲名　もんしろてふ幼蟲

一區頭數　二〇頭

（第八〇表）

備考　附加劑トシテ白土ヲ使用セリ。

成績（其ノ九）

施行月日　十月十九日

供試蟲名　かぶらはばち幼蟲

一區頭數　二〇頭

區別	配合量 / 調査月日	一〇・二〇	二一	二二	二三	二四	二五	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	弗化硅酸曹達　五%	五	五	五	一	二		二	一八	九〇、〇〇

（第八一表）

區別	配合量 / 調査月日	六、二五	二六	二七	二八	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	弗化硅酸曹達　五%	六	五	四	五	〇	二〇	一〇〇、〇〇
二	同　一〇%	一三	八	一	一	〇	二〇	一〇〇、〇〇
三	同　二〇%	一二	八			〇	二〇	一〇〇、〇〇
四	同　三〇%	一三	六	〇	一	〇	二〇	一〇〇、〇〇
五	同　五〇%	一七	二	一		〇	二〇	一〇〇、〇〇
六	同　一〇〇%	一五	四	一		〇	二〇	一〇〇、〇〇
七	標準區	二	一	一	二	一四	六	二〇、〇〇

備考　前同

成績（其ノ一〇）

施行月日　十月二十七日

供試蟲名　前同

一區頭數　三〇頭

區別	配合量 / 調査月日	一〇・二六	二九	三〇	三一	一・二	二	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	弗化硅酸曹達　五%	二	四	五	四	一	二	一八	二	九五、〇〇
二	同　一〇%	二	五	一	一	一	一	一	一九	一〇〇、〇〇
三	同　二〇%	二	五	二	二	二	二	〇	二〇	一〇〇、〇〇
四	同　三〇%	二	六	三	三	一	一	〇	二〇	一〇〇、〇〇
五	同　五〇%	二	七	二	二	一		〇	二〇	一〇〇、〇〇
六	同　一〇〇%	二	八	一	一	二		〇	二〇	一〇〇、〇〇
七	標準區	一	一	〇	〇	〇	〇	〇	二	一〇、〇〇

（第八二表）

| | | |

以上ノ諸成績ヲ總括シテ表示スレバ次ノ如シ。

供試蟲名 / 濃度	死蟲歩合															
	●ちやどくがが幼蟲	●うりはむし	●もんしろてふ幼蟲	●同上	●ごうがねぶらはばんくち幼蟲	●かぶらはばち幼蟲	●同上	●もんしろてふ幼蟲	同上	かぶらはばち幼蟲	同上	●同上	●同上	同上	同上	同上
弗化硅酸曹達 一%	—	—	—	—	—	—	—	八六、六七	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇
同 二%	—	—	—	—	—	—	—	八六、六七	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇
同 三%	—	—	—	—	—	—	—	九三、三三	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇
同 五%	—	—	—	—	—	—	—	八〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇
砒酸鉛 一%	—	—	—	—	—	—	—	—	九〇、〇〇	九三、三三	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇
同 二%	—	—	—	—	—	—	—	—	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇
同 三%	—	—	—	—	—	—	—	—	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇
同 五%	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	九〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	六〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇
(撒布劑) 二%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
標準區	六二、〇〇	〇	二〇、〇〇	六〇、〇〇	〇	八四、〇〇	五〇、〇〇	六〇、〇〇	八〇、〇〇	七六、六七	五五、〇〇	一五、〇〇	一〇〇、〇〇	五一、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇
供試頭數	一〇〇	五	三〇	一〇	五	二五	二〇	一〇	一五	三〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二五
施行月日	五・三〇	六・八	六・二〇	六・二三	七・四	一〇・二四	一〇・二一	八・八	一〇・一三	一〇・二七	一〇・三一	二・八	二・八	二・八	二・八	二・一三

備考 ●印ハ附加劑トシテ白陶土ヲ使用シ無印ノモノハ白土ヲ使用。
砒酸鉛撒布劑ハ水一石ニ付砒酸鉛一、五封度、生石灰等量、かぜいん石灰三十匁ノ割合ナリ。

（第八六表）

以上試驗概評ハ最後ニ記セリ。

尚ホ撒粉後害蟲ノ死ニ至ル日數ハ應用上重要ナ問題ナリ。コレラニ關スル試驗成績ハ第六四表ヨリ第七二表ノ成績ヲ參照アリタシ。

（五）藥害ニ關スル試驗

目的　各種ノ果樹ニ對シ弗化硅酸曹達ニ依ル藥害ヲ檢知セントス。

方法　圃場ニテ三、四年生ノ梨、桃、苹樹ノ枝ニ藥劑ヲ撒布並ニ撒粉シ十數日ヲ距テ調査セリ。

成績（其ノ一）

撒粉月日　十月十二日

調査月日　十月二十五日

區別	調査項目 / 藥劑配合量	梨 品種	梨 總供試葉數	梨 被害葉數	梨 落葉數	梨 完全被害葉數	梨 被害歩合	桃 品種	桃 總供試葉數	桃 被害葉數	桃 落葉數	桃 完全被害葉數	桃 被害歩合
一	弗化硅酸曹達五、白陶土九五	ばーとれつと	一八	七	〇	一一	三八、八九	—	—	—	—	—	—
二	同 五、硅藻土九五	同	一〇	〇	〇	一〇	〇	—	一一	〇	〇	一一	〇
三	同 五、消石灰九五	同	八	一	〇	七	三、五〇	—	九	〇	〇	九	三、〇〇
四	同 五、滑石粉九五	同	八	一	〇	七	三、五〇	傳・十郎	一〇	二	一	七	九一、六七
五	同 五、白土九五	同	八	一	〇	七	三、五〇	同	一二	九	二	一	〇
六	同 五、酸性白土九五	同	九	一	〇	八	二、二	同	一〇	六	〇	四	六〇、〇〇

區名	藥劑配合量	調査項目	梨 品種	梨 總葉數	梨 被害葉數	梨 落葉數	梨 完全葉數	梨 被害歩合	苹 品種	苹 總葉數	苹 被害葉數	苹 落葉數	苹 完全葉數	苹 被害歩合	樹 品種	樹 總葉數	樹 被害葉數	樹 落葉數	樹 完全葉數	樹 被害歩合	桃 品種	桃 總葉數	桃 被害葉數	桃 落葉數	桃 完全葉數	桃 被害歩合
七	同	一、白陶土 四	同																							
八	同	一、同																								
九	同	一、同	ふれみしゆ	一八	二																					
一〇	砒酸鉛五、同	九五	さゆふあー	一一	〇																					
一一	弗化曹達五、同	九五	ふれみしゆ	二〇	一																					
一二	弗化硅酸曹達五、炭酸まぐねしや	九五	さゆふあー	八	一																					
一三	同	五、燒明礬 九五	同	一三	〇																					
一四	標準	區	ばーとれつと	九	〇																					

藥劑撒布後調査マデノ降雨日及其ノ量ヲ示セバ次ノ如シ。（毎日午前十時觀測）

十月十五日　〇、六粍
同　十六日　八、六粍
同　十八日　三、五粍
同　十九日　二、五粍
同二十一日　一三、六粍
同二十三日　〇、五粍

成績（其ノ二）

（第八七表）

撒布月日　十一月二日
調査月日　十一月十日

區名	藥劑配合量	調査項目	梨 品種	梨 總葉數	梨 被害葉數	梨 落葉數	梨 完全葉數	梨 被害歩合	苹 品種	苹 總葉數	苹 被害葉數	苹 落葉數	苹 完全葉數	苹 被害歩合	樹 品種	樹 總葉數	樹 被害葉數	樹 落葉數	樹 完全葉數	樹 被害歩合	桃 品種	桃 總葉數	桃 被害葉數	桃 落葉數	桃 完全葉數	桃 被害歩合
一	水一石ニ付弗化硅酸曹達一封度、生石灰一封度	晩三吉	一六	三	〇	一三	一八、五五	黄魁	一〇	一〇	〇	〇	〇	〇	かーるまん	一四	二	〇	一二	一四、二九						
二	同　生石灰一、五封度	同	八	〇	〇	八	〇	同	一一	一一	〇	〇	〇	同	同	一〇	一	〇	九	三三、三三						
三	同　〇、五封度	同	六	〇	〇	六	〇	同	一八	一八	〇	〇	〇	同	同	一四	四	〇	八	一〇、〇〇						
四	水一石ニ付弗化硅酸曹達二封度、生石灰〇、五封度	同	六	〇	〇	六	〇	同	八	八	〇	〇	〇	同	同	一二	一一	〇	三	七八、五七						
五	水一石ニ付弗化硅酸曹達一五封度、生石灰一封度	同	七	〇	〇	七	七	同	九	九	〇	〇	〇	同	同	一〇	二	〇	八	二〇、〇〇						
六	標準區	同	一〇	一〇	〇	一〇	一〇	〇	一〇	一〇	〇	〇	〇	〇	同	九	〇	〇	九	〇						

成績（其ノ三）

撒布、調査月日前同

區名	藥劑配合量	調査項目	梨 品種	梨 總葉數	梨 被害葉數	梨 落葉數	梨 完全葉數	梨 被害歩合	苹 品種	苹 總葉數	苹 被害葉數	苹 落葉數	苹 完全葉數	苹 被害歩合	樹 品種	樹 總葉數	樹 被害葉數	樹 落葉數	樹 完全葉數	樹 被害歩合	桃 品種	桃 總葉數	桃 被害葉數	桃 落葉數	桃 完全葉數	桃 被害歩合
一	水一石ニ付弗化硅酸曹達二封度、石鹼一封度	長十郎	三	三	〇	〇	〇	一〇〇、〇〇	黄魁	九	六	〇	六六、六六	白桃	一〇	一〇	〇	一	九	一〇、〇〇						
二	同　石鹼一、五封度	晩吉三	八	七	〇	一	八五、〇〇	同	一一	一一	七	〇	六五、六三	同	一三	一一	四	〇	九	三〇、七七						
三	同　二封度	同	一〇	八	〇	二	八〇、〇〇	同	一六	一六	八	〇	八	吾、〇〇	同	一一	一	六	四	六三、六四						

（第八八表）

四	水一石ニ付弗化硅酸曹達三封度、石鹸一封度	同	六	一二	〇	〇	一二	〇	一〇	〇	一〇	〇	一〇	〇	一〇	〇	一〇	〇	一〇
五	同	石鹸二封度	同	七	七	〇	〇	一三	一二	四	〇	九	一二	〇	七	五	四	五八、三五	〇
六	水一石ニ付弗化硅酸曹達一封度、石鹸一封度	同	六	二	〇	四	三、三	〇	一〇	三	〇	一〇	一〇、〇〇	〇	九	〇	五	五五、五六	
七	標準	區	同	一二	〇	一二	〇	同	一〇	〇	〇	一〇	〇	同	一〇	〇	一〇	〇	

（第八九表）

以上ノ成績ノ外四回ニ渡リ藥害試驗ヲ行ヒシガ供試品種不詳ナルタメ發表セズ。

（六）蝗ニ對スル毒餌試驗

目的　蝗ハ稻等禾本科植物ノミナラズ琉球藺等モ著シク加害スルヲ以テ最モ簡易ナル毒餌ニテ防除シ得ルヤヲ知ラントス。

方法　飼育箱（前口四四粍、奥行四四粍、高サ八八粍）ニ各毒餌ヲ入レ蝗ヲ放チ毎日死蟲數ヲ調査セリ。

成績（其一）

施行月日　八月二十九日

一區頭數　二五頭

蝗ハこばねいなごヲ混ズ。

區別	配合量	調査月日	死蟲數 九、一	二	三	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	ばりすぐりん一封度、食鹽一封度、草三三貫五百、水少量		一五	二	六	二	〇	二五
二	ふろらいど一封度、食鹽一封度、草三三、五貫、水少量		二六	三	二			
三	鼓吾封度、ばりすぐりん三封度、糖蜜八升、おれんぢ六個、水少量		一三	一〇	二		〇	二五
四	鼓吾封度、ふろらいど三封度、糖蜜八升、おれんぢ六個、水少量		一三	八	四		〇	二五
五	標準區		三	一	三	四	二	一三

（第九〇表）

成績（其二）

施行月日　九月二十二日

供試蟲名　同前

一區頭數　一〇頭

區別	配合量	調査月日	死蟲數 九・二三	二四	二五	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	共一ニ等シ		六	一	三	〇	一〇	一〇〇
二			一	三	六	〇	一〇	一〇〇
三			二	二	六	〇	一〇	一〇〇
四			五	五	〇	九	一〇	一〇〇
五			〇	一	〇	〇	一	一〇〇

（第九一表）

概評　以上ノ成績ニヨレバ毒餌ノ効多キヲ認ム。

三、石鹼ニ關スル試驗

(一) 流動石鹼ノ効力試驗

目的　流動石鹼ノ効力如何ヲ知ラントス。

方法　新梢ニ寄生セル儘ニテ藥液ヲ撒布シ硝子皿ニ入レ室内ニ放置ス。

成績（其一）

五月二〇日施行　撒布五時間後調査

供試蟲名　とつくりありまき

區名	配合量	供試蟲總數	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	石鹼　八瓦、水　四百瓩	二四七	三一	二一六	八七・四四
二	同　四瓦、同	一二四	四一	八二	六六・一二
三	同　二瓦、同	二七三	五八	二一五	七八・七五
四	同　一瓦、同	二〇六	六七	一三九	六七・四七
五	あでか農藝石鹼　四瓦、同	二八一	二	二七九	九九・三二
六	水	全生			○

（第九二表）

成績（其二）

五月二七日施行　撒布三時間後調査

區名	配合量	供試蟲總數	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	同前	二八一	三	二七九	九七・二四
二		二五七	二〇	二三七	九六・一一
三		三七一	六二	三一一	八三・五五
四		一八二	七五	一〇七	五九・一一
五		一七七	四	一七三	九七・七五
六		全生			○

（第九三表）

成績（其三）

五月二七日施行　二〇時間後調査

區名	配合量	供試蟲總數	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	同前	一一五	一九	九六	八三・四八
二		二二一	一六	二〇二	九一・四〇
三		九二	二七	六五	七〇・六五
四		三四〇	二一六	二九	八二・八三
五		一六四	八	一五九	九六・九五
六		全生			○

（第九四表）

概評　殺蟲力アルモあでか農藝石鹸ニ比シ劣ルヲ認ム。
備考　石鹸ハ長尾商會ノ提出ノモノヲ使用ス。

（二）小西農藝石鹸効力試驗

目的　効力程度ヲ知ラントス。
方法　同前
成績
七月二一日施行　四時間半後調査
供試蟲名　なしありまき？

區名	配合量（一石ニツキ）	供試蟲總數	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	小西農藝石鹸　二四〇匁	五六一	六	五五五	九八・〇九
二	同　一八〇	三七一	二一	三五四	九五・四二
三	同　一二〇	四五〇	二〇四	二四六	五四・六七
四	同　六〇	二一八	一九六	二二	一〇・〇九
五	あでか農藝石鹸　二四〇	九五	〇	九五	一〇〇・〇〇
六	同　一八〇	三六六	二三	三四三	九三・六四
七	同　一二〇	一九四	一〇八	一八六	九五・八八
八	同　六〇	一〇〇	一〇〇	〇	〇

（第九五表）

九	水	一〇〇	一〇〇	〇	〇

概評　試驗回數少ナキモあでか農藝石鹸ニ比シ効劣ルガ如シ。

（第九五表）

四、液體ねおさんニ關スル試驗

目的　効力程度ヲ知ラントス。
方法　同前
成績（其一）
五月五日施行　同日調査
供試蟲名　とつくりありまき？

區名	配合量（一升ニツキ）	供試蟲總數	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	二・二瓩　石鹸　一二匁	八〇	一	七九	九八・七五
二	四・五瓩　同			全死	一〇〇・〇〇
三	六・七瓩　同			全死	一〇〇・〇〇
四	九・〇瓩　同	六五	四	六一	九三・八四
五	四・五瓩　同　二四匁			全死	一〇〇・〇〇
六	水	一八二	一八〇	二	一〇・九八

（第九六表）

成績（其二）

六月一日施行　六月二日調査

供試蟲名　同右

區名	配合量	供試蟲總數	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	同前 糊狀ねおとん二・二瓦、石鹼一二匁	二〇八	二	二〇六	九九・〇四
二		三九二	二二	三七〇	九四・三八
三		一七八	二	一七六	九八・八七
四		一四二	五	一三七	九六・四八
五		一〇〇	〇	一〇〇	一〇〇・〇〇
六		二三八	二	二三六	九九・一六
七			全生		〇

（第九七表）

成績（其三）

六月九日施行　同日調査

供試蟲名　同右

區名	配合量	供試蟲總數	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一		二〇九	〇	二〇九	一〇〇
二	同前	一七一	〇	一七一	一〇〇
三		一八九	〇	一八九	一〇〇
四		一二〇	〇	一二〇	一〇〇
五		二〇三	〇	二〇三	一〇〇
六		二三六	〇	二三六	一〇〇
七		一〇〇	一〇〇	〇	〇

（第九八表）

概評　大體ニ於テ糊狀ねおとんト大差ナク使用簡易ナリ。

五、除蟲菊劑ニ關スル試驗

（一）除蟲菊粉劑ノ附加劑ノ種類ト効力トニ關スル試驗

目的　除蟲菊撒粉ヲ行フニ當リ附加劑トシテ有効ナルモノヲ驗知セントス。

方法　ありまきノ寄生セル新梢ヲ水ヲ入レタル三角瓶ニ挿シ新梢ニ水ヲ撒布シ後撒粉セリ。

成績（其一）

六月十一日施行　同日調査

供試蟲名　とつくりありまき？

成績（其二）

六月二十八日施行　翌日調査

供試蟲名　同前

區名	配合量	附着力	成績
一	除蟲粉一、炭酸石灰九		全死
二	同　一、白陶土九		同
三	同　一、滑石九	可	同
四	同　一、白土九		同
五	同　一、酸性白土九	可	同
六	同　一、木灰九		同
七	同　一、炭酸まぐねしや九	可	同
八	同　一、麥粉九		同
九	標準區		全生

（第九九表）

區名	配合量	供試蟲總數	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一		一〇〇	〇	一〇〇	一〇〇・〇〇
二		一〇〇	〇	一〇〇	一〇〇・〇〇

三	同前	一〇〇	〇	一〇〇	一〇〇・〇〇
四		二五七	五二	二〇五	七九・八九
五		三六三	二三五	一二八	三五・二六
六		一〇〇	〇	一〇〇	一〇〇・〇〇
七		二九三	一〇二	一九一	六五・一九
八		一〇〇	一〇〇	〇	〇
九		一〇〇	一〇〇	〇	〇

（第一〇〇表）

概評　試驗回數少ク結論シ得ズ。

（二）みづほ殺蟲劑効力試驗

目的　効力程度ヲ知ラントス。

方法　ありまきノ寄生セル新梢ヲ三角瓶ニ挿シ後小型霧吹ニテ撒布ス。

成績（其一）

五月四日施行　四時間後調査

供試蟲名　なしありまき？

區名	配合量（一石ニ付）	供試蟲總數	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	一二〇匁　石鹼　一二〇匁	一八八	三	一八五	九八・四〇

二	二四〇匁	同	同	一二三	四〇	八三	六七・四八
三	三六〇匁	同	同	一五六	九	一四七	九四・二三
四	一二〇匁	同	二四〇匁	一三七	二	一三五	九八・五四
五	標準區			三三三	三三〇	三	〇・九九

（第一〇一表）

成績（其二）

六月一日施行　二日調査

供試蟲名　とつくりありまき？

區名	配合量	供試蟲總數	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	同前	一〇〇	〇	一〇〇	一〇〇
二		一〇〇	〇	一〇〇	一〇〇
三		一〇〇	〇	一〇〇	一〇〇
四		一〇〇	〇	一〇〇	一〇〇
五		一〇〇	一〇〇	〇	〇

（第一〇二表）

概評　試驗回數少ナキモ相當効力アルヲ見ル。

（三）山本氏べれとろん効力試驗

目的　効力程度並ニ貯藏中効力ヲ失フヤ否ヲ知ラントス。

方法　同前

成績

六月四日施行　同日調査

千倍液一石ニツキ石鹼二封度加用シ、なしありまき、ももこふきありまき、とつくりありまき、わたありまきニ撒布セルニ標準區以外全部死滅セリ。

六、さぼにんノ効力試驗

目的　さぼにんノ接觸劑的効力程度ヲ知ラントス。

方法　同前

成績（其一）

五月二十八日施行　同二十九日調査

供試蟲名　とつくりありまき？

區名	配合量	供試蟲總數	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	二％液	一七六	三九	一三七	七七・八四
二	一％	一四七	九二	五五	三七・四一

三	○•五	二三二	一一七	一一五	四九•五六
四	○•二	四二七	三八五	四二	九•八三
五	○•一	二五二	二二八	二五	九•九二
六	○•○五	三九四	二七二	一二二	三○•九六
七	標準區		全生	○	○

（第一〇三表）

成績（其二）

七月二十九日施行　同日調査

供試蟲名　同前

區名	配合量	供試蟲總數	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	同前	二六八	二六〇	八	九六•八四
二		二四一	二三七	四	九八•三四
三		九六	九一	五	九四•七九
四		一五三	一四一	一二	九二•一六
五		一五八	二一	一三七	一四•四九
六		九三	二	九一	二一•五〇
七		六七	○	六七	○

（第一〇四表）

概評　相當効アルモ單用スルハ不經濟ナリ。

七、乳劑類ニ關スル試驗

（一）効力ニ關スル試驗

目的　各種乳劑類ノ効力ヲ比較査定セントス。

方法　柳若クハ薔薇ニ寄生セル介殼蟲ヲ枝梢ト共ニ取リ來リ水ヲ盛レル三角瓶ニ挿シ藥液ヲ撒布シ飼育室ニ放置セリ。

成績（其一）

施行年月日　昭和二年三月八日

調査　月日　四月二十五日

區名	藥劑名並ニ濃度	供試蟲名	供試蟲總數	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一ノ一	すけーるですとろいやー一五倍	なししろながかひがら	五〇	六	四四	八八
一ノ二	同	ちやのながくろほしかひがら	五〇	一八	三二	六四
一ノ三	同	くはかひがら	五〇	二九	二一	四二
一ノ四	同	なしまるかひがら	五〇	三五	一五	三〇
二	あでかおいる　五〇倍	ちやのながくろほしかひがら	五〇	二五	二五	五〇
三ノ一	すぶれーおいる　二〇倍	なしのまるかひがら	五〇	二九	二一	四二

成績（其二）

施行年月日　昭和二年三月十六日

調査月日　五月一日

三ノ二	同	なしのしろながかひがら	五〇	五〇	一	四九	九八
三ノ三	同	くはかひがら	五〇	三五	三五	一五	三〇
三ノ四	同	ちやのながくろほしかひがら	五〇	二八	二二	一五	四四
四ノ一	機械油乳劑　一五倍	なしのまるかひがら	五〇	三五	一五	三〇	三〇
四ノ二	同	なしのしろながかひがら	五〇	二	四八	九六	九六
五ノ一	石灰硫黄合劑ぼーめ五度液一石ニかぜいん石灰六〇匁加用	なしのまるかひがら	五〇	一八	三二	六四	六四
五ノ二	同	なしのしろながかひがら	五〇	二	四八	九六	八四
五ノ三	同	ちやのながくろほしかひがら	五〇	八	四二	八四	八四
五ノ四	同	くはかひがら	五〇	三五	一五	三〇	一〇〇
六ノ一	尾氏みっしぶるおいる　五〇倍	なしのしろながかひがら	五〇	〇	五〇	一〇〇	一〇〇
六ノ二	同	くはかひがら	五〇	三二	一八	三六	三六
七ノ一	標準區	なしのまるかひがら	五〇	五〇	〇	〇	〇
七ノ二		なしのしろながかひがら	五〇	四三	七	一四	一四
七ノ三		くはかひがら	五〇	四八	二	四	四
七ノ四		ちやのながくろほしかひがら	五〇	四〇	一〇	二〇	二〇

（第一〇五表）

供試蟲名　くはかひがらむし

區名	藥劑名並ニ濃度	供試蟲總數	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一ノ一	あでかおいる　三〇倍（櫻）	枯死			
一ノ二	同（柳）	二七	七	二〇	
二ノ一	同　五〇倍（櫻）	二〇	八	一二	六〇・〇〇
二ノ二	同（柳）	五〇	二一	三九	七八・〇〇
三ノ一	同　七〇倍（櫻）	枯死			
三ノ二	同（柳）	五〇	三九	一一	二二・〇〇
四ノ一	すぷれーおいる　二〇倍（櫻桃）	三〇	一〇	二〇	
四ノ二	同（柳）	枯死			
五ノ一	同　四〇倍（櫻）	五〇	三三	二七	
五ノ二	同（柳）	枯死			
六ノ一	同　六〇倍（櫻）	五〇	三八	一二	二四・〇〇
六ノ二	同（柳）	枯死			
七ノ一	すけーるですとろいや　一五倍（櫻桃）	五〇	一八	三二	六四・〇〇
七ノ二	同（柳）	五〇	四四	六	一二・〇〇
八ノ一	同　二五倍（櫻桃）	五〇	一〇	四〇	八〇・〇〇
八ノ二	同（柳）	五〇	二九	二一	四二・〇〇

九ノ一	同	三五倍（櫻）	枯死	五〇					
九ノ二	同	同（柳）	同						
一〇ノ一	機械油乳劑	一五倍（桑）	同						
一〇ノ二	同	同（櫻）	同						
一一ノ一	同	二五倍（櫻）	同						
一一ノ二	同	同（柳）	同						
一二ノ一	同	三五倍（櫻桃）	同	五〇	二七	二三	四六・〇〇		
一二ノ二	同	同（柳）	同	五〇	三五	一五	三〇・〇〇		
一三ノ一	尾氏みっしぶるおいる	三〇倍（櫻）	枯死						
一三ノ二	同	同（柳）	同						
一四ノ一	同	五〇倍（櫻）	同						
一四ノ二	同	同（柳）	同						
一五ノ一	同	七〇倍（櫻桃）	枯死	五〇	三五	一五	三〇・〇〇		
一五ノ二	同	同（柳）	同	二〇	一二	八	四〇・〇〇		
一六ノ一	石灰硫黄合劑ぼーめ五度液一石ニ付かぜいん石灰六〇匁加用	同（櫻桃）	枯死	二〇	一一	九	四五・〇〇		
一六ノ二	同	同（柳）	同	五〇	三五	一五	三〇・〇〇		
一七ノ一	標準區	同（櫻桃）	同	二〇	一五	五	二〇・〇〇		
一七ノ二	同	同（柳）	同	五〇	四七	三	六・〇〇		

（第一〇六表）

備考　機械油乳劑ハBましん一升、あでか農藝石鹸五〇匁、水一升ノ割ナリ。

成績（其三）

施行年月日　昭和二年三月十四日

調査　月日　五月九日

區名	藥劑名並ニ濃度	供試蟲名	調査蟲數	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	尾氏みっしぶるおいる 四〇倍	ちやのながくろほしかひがら	五〇	二	四八	九六%
二ノ一	同 六〇倍	かめのこらうむし	一三	一三	〇	〇
二ノ二	同 同	なしのまるかひがら	五〇	一八	三二	六四
二ノ三	同 同	くはかひがら	五〇	三五	一五	三〇
三ノ一	同 八〇倍	なしのまるかひがら	五〇	二二	三八	七六
三ノ二	同 同	同	五〇	三四	一六	三二
四ノ一	標準區	同	五〇	五〇	〇	〇
四ノ二	同 同	ちやのながくろほしかひがら	五〇	四〇	一〇	二〇
四ノ三	同 同	くはかひがら	五〇	四八	二	四

（第一〇七表）

成績（其四）

施行年月日　昭和三年一月二十一日

調査　月日　四月九日

供試蟲名　ばらのかひがらむし（野薔薇）

成績（其五）

施行月日　一月二十一日
調査月日　三月三十一日
供試蟲名　くはかひがら（柳）

區名	藥劑名並ニ濃度	供試蟲總數	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	石灰硫黄合劑ぼーめ一五度液一石ニ付キかぜいん石灰六〇匁加用	一七三	一三〇	四三	二四・八六

（第一〇八表）

區名	藥劑名並ニ濃度	供試蟲總數	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	石灰硫黄合劑ぼーめ五度液一石ニツキかぜいん石灰六〇匁加用	六九	三七	三二	四六・三八
二	あでかおいる　三五倍	一〇三	三六	六七	六五・〇四
三	すぶれーおいる　三五倍	二六三	一	二六二	九九・六〇
四	すけーるさいど　二〇倍	一四三	六四	七九	五五・二五
五	すけーるですとろいやー　二〇倍	二一三	一〇三	一一〇	五一・六四
六	ぼるく　一〇倍	三九二	〇	三九二	一〇〇・〇〇
七	機械油乳劑	一八一	三	一六八	九二・八一
八	標準區	枯死			

成績（其六）

施行月日　一月二十一日
調査月日　四月六日
供試蟲名　くはかひがら（柳）

區名	藥劑名並ニ濃度	供試蟲總數	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
二	あでかおいる　二〇倍	枯死			
三	同　三五倍	同			
四	すぶれーおいる　二〇倍	一三五	九二	四三	三二・五九
五	同　三五倍	枯死			
六	すけーるさいど　一〇倍	一四三	七三	七〇	四八・九五
七	同　二〇倍	枯死			
八	すけーるですとろいや　一〇倍	五八	〇	五八	一〇〇・〇〇
九	同　二〇倍	五六	一六	四〇	七一・四三
一〇	ぼるく　一〇倍	一三九	二	一三七	九八・五六
一一	同　二〇倍	一三八	五九	七九	五七・二五
一二	機械油乳劑　一五倍	一九三	四八	一四五	七五・一三
一三	同　二〇倍	九二	六六	二六	二八・二六
一四	おーそこんせんとれーと　一〇倍	五二	四八	四	七・六九
一五	標準區	四〇	三七	三	七・五〇

（第一〇九表）

成績（其七）

區名	藥劑名並ニ濃度	供試蟲總數	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	同右	一九六	四〇	一五六	二〇・四一
二		一〇三	一六	八七	一五・五三
三		二〇一	一三〇	七一	六四・六八
四		一九七	二九	一六八	一五・二二
五		一三二	四四	八八	五八・九一
六		一二九	七六	五三	五八・九〇
七		一七〇	六四	一〇六	三七・六五
八		一八一	一四九	三二	八二・三二
九		二〇八	九八	一一〇	四七・一二
一〇		二七七	二七七	〇	一〇〇・〇〇
一一		一一二	一〇三	九	九一・九六
一二		九二	三〇	六二	三二・六一
一三		一六一	三八	一二三	二三・六〇
一四		一八九	一五一	三八	七九・八九
一五	標準區	三七	七	三〇	一八・九二
一六	同	一〇三	一六	八九	一五・五三

（第一一〇表）

施行月日　一月二十一日
調査月日　四月六—七日
供試蟲名　くはかひがら（柳）

區名	藥劑名並ニ濃度	供試蟲總數	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一	同右	一七〇	一〇七	六三	三七・〇六
二		二三三	一一三	一二〇	五一・五〇
三		一四四	一〇七	三七	二五・六九
四		一七九	七五	一〇四	五九・二二
五		一五五	一一〇	四五	二九・〇三
六		一九四	一七二	二二	一一・三四
七		一三五	一〇三	三二	二三・七〇
八		二二九	七一	一五八	六九・〇〇
九		一〇七	二三七	八〇	七四・七七
一〇		二七四	三	二七一	九八・九〇
一一		一二七	六二	四五	三五・四三
一二		一三二	一〇四	二八	二一・二一
一三		二〇六	一六九	三七	一七・九六
一四	標準區	三七	三〇	七	一八・九二

一五	同	一〇七	九六	一一	一〇・二八		

成績（其八）

施行月日　三月十五日

調査月日　五月三日

供試蟲名　くはかひがら（柳）

（第一一一表）

區名	藥劑名並ニ濃度	供試蟲總數	生存蟲數	死蟲數	死蟲歩合
一ノ一	Sおいる二％	一五一	三六	一一五	七六・一五
一ノ二	同　同	一八四	六〇	一二四	六七・三九
二ノ一	同　三％	一四一	七二	六九	四八・九四
二ノ二	同　同	一五九	七五	八四	五二・八三
三ノ一	同　四％	一九五	四八	一四七	七五・四四
三ノ二	同　同	一七五	六二	一一三	六四・五七
四ノ一	同　五％	二四七	一一七	一三〇	五二・六三
四ノ二	同　同	一三八	四一	九七	七〇・二九
五	標準區	一二六	七三	五三	四二・〇六

（第一一二表）

概評　試驗回數少ナク結論シ得ズ。

附記　各原液中ノ油成分次ノ如シ。

ぼるく Volck	八三％
おーそーるこんせんとれーと Orthol concentrab	八〇
尾氏みつしぶるおいる	八五
Sおいる	九一
外不詳	

（二）藥害ニ關スル試驗

目的　各種乳劑ノ藥害ノ有無及其程度ヲ知ラントス。

方法　苗木ニ就キ前試驗ト同樣ノ方法ニ依リテ試驗ヲ行フ。

成績（其一）

施行月日　七月九日

調査月日　七月十八日

供試樹名　梨

區名	藥劑名並倍數	供試總葉數	完全葉數	斑點ヲ有スル葉數	落葉數	被害葉歩合
一	ぼるく　五〇倍	三〇	二七	三	〇	一〇・〇〇
二	一〇〇倍	二六	二三	三	〇	一一・五三

施行月日　七月九日
調査月日　七月十八日
供試樹名　桃　品種不詳

區名	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九
薬剤名並倍數									同							有			
供試總葉數	二二	一四	四九	五二	四六	六三	六九	四八	六〇	五二	四九	二四	一一	一八	一二	一三	一一	一一	二〇
完全葉數	一二	九	一二	三	八	〇	一三	三〇	三九	四八	三一	一一	二二	四	一一	〇	〇	〇	二
病斑ヲ有スル葉數	一一	五	七	四九	三八	六三	五六	三八	二一	四	一八	一一	一一	一三	一〇	一一	一一	一六	一八
落葉數	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
被害葉歩合	四七・八二	三五・七一	七五・五一	九四・二三	八二・五六	一〇〇・〇〇	八一・一五	三七・五〇	三五・〇〇	七六・九二	三六・七二	五四・一五	八八・八八	九〇・〇〇	九二・八五	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	八三・三三

區名	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九
薬剤名並倍數	すけーるですさろいや				すぶれーおいる				あでかおいる										
	五〇倍	一〇〇倍	五〇倍	一〇〇倍	五〇倍	一〇〇倍	五〇倍	一〇〇倍	五〇倍	一〇〇倍	五〇倍	一〇〇倍	五〇倍	一〇〇倍	五〇倍	一〇〇倍	五〇倍	一〇〇倍	五〇倍
	標準区								尾氏ガつしぶるおいる										
	五〇倍	一〇〇倍	五〇倍	一〇〇倍	五〇倍	一〇〇倍	五〇倍	一〇〇倍	五〇倍	一〇〇倍	五〇倍	一〇〇倍	五〇倍	一〇〇倍	五〇倍	一〇〇倍	五〇倍	一〇〇倍	五〇倍
	おーそーーせんされーさ																		

（第一一三表）

成績（其三）

施行月日　七月二十九日
調査月日　十日後
供試樹名　和梨

區名	藥劑名並倍數	供試總葉數	完全葉數	斑點ヲ有スル葉數	落葉數	被害葉歩合
一	あでかおいる（昭和二年度製品）五〇倍	一五	一五	一五	〇	〇
二	一〇〇倍	一一	一一	一一	〇	〇
三	一五〇倍	六	六	六	〇	〇
四	標準區	二〇	二〇	二〇	〇	〇
一五		一七	二	一五	〇	八八・二二
一六		三六	一	二九	六	九七・二三
一七		二四	〇	二四	〇	一〇〇・〇〇
一八		二七	五	二二	〇	八一・八八
一九		二一	二一	〇	〇	〇

（第一一四表）

成績（其四）

施行月日　十月四日
調査月日　十月十五日
供試樹名　和梨

區名	藥劑名並倍數	供試總葉數	完全葉數	斑點ヲ有スル葉數	落葉數	被害葉歩合	品種名
一	ぼるく 五〇倍	一六	一六	一六	〇	〇	ふれみしゆびゆーてー
二	一〇〇倍	一七	一七	一七	〇	〇	同
三	一五〇倍	一五	一五	一五	〇	〇	同
四	おーそーこんせんとれーと 五〇倍	二四	二四	二四	〇	〇	同
五	同 一〇〇倍	一六	一五	一	〇	六・二五	同
六	同 一五〇倍	一五	一五	〇	〇	〇	同
七	尾氏みつしぶるおいる 五〇倍	八	八	八	〇	〇	同
八	同 一〇〇倍	九	七	二	〇	二二・二二	和梨、品種不詳
九	同 一五〇倍	八	七	一	〇	一二・五〇	同
一〇	あでかおいる（元年製）五〇倍	一〇	一〇	〇	〇	〇	市原早生
一一	同 一〇〇倍	八	二	四	二	七五・〇〇	同
一二	同 一五〇倍	六	五	一	〇	一六・六七	ばーとれっと
一三	同 五〇倍（二年製）	二一	二一	〇	〇	〇	同
一四	同 一〇〇倍	一七	一七	〇	〇	〇	同

（第一一五表）

成績（其五）

施行月日並調査月日　同前

供試樹名　桃

區名	藥劑名並倍數	供試總葉數	完全葉數	斑點ヲ有スル葉數	落葉數	被害葉歩合	品種名
一	同　一五〇倍	二七	二七	〇	〇	〇	同
一六	すぶれーおいる　五〇倍	一六	一四	二	〇	一二・五〇	同
一七	同　一〇〇倍	二八	一七	一一	〇	三九・二八	同
一八	同　一五〇倍	一五	一五	〇	〇	〇	同
一九	すけーるですろいやー　五〇倍	四三	三九	四	〇	九・三〇	同
二〇	同　一〇〇倍	一一	八	三	〇	二七・二七	同
二一	同　一五〇倍	三六	二九	七	〇	一九・四四	同
二二	すけーるさいど　五〇倍	三九	二	三七	〇	九四・八二	同
二三	同　一〇〇倍	二五	五	一八	二	八〇・〇〇	同
二四	同　一五〇倍	一九	一	一八	〇	九四・七三	同
二五	標準區	二五	二五	〇	〇	〇	同

（第一一六表）

區名	藥劑名並倍數	供試總葉數	完全葉數	斑點ヲ有スル葉數	落葉數	被害葉歩合	品種名
一	同	一四	一四	〇	〇	〇	不詳
二	同	一一	一一	〇	〇	〇	同
三	同	二七	二七	〇	〇	〇	同
四	同	一〇	一〇	〇	〇	〇	同
五	同	一五	一五	〇	〇	〇	同
六	同	一二	一二	〇	〇	〇	同
七	同	一三	五	八	〇	六一・五三	金桃
八	同	一二	三	九	〇	七五・〇〇	かーるまん
九	同	二〇	一五	五	〇	二五・〇〇	同
一〇	同	一六	一三	三	〇	一八・七五	同
一一	同	一三	九	四	〇	三〇・七七	同
一二	同	一七	八	九	〇	五二・九四	同
一三	前	二一	一七	四	〇	一九・〇五	橘早生
一四	同	二〇	一五	五	〇	二五・〇〇	同
一五	同	二一	一八	三	〇	一四・二九	同
一六	同	一二	七	五	〇	四一・六六	不詳
一七	同	一六	七	九	〇	五〇・四二	同
一八	同	二一	五	一六	〇	七六・一九	橘早生
一九	同	一三	一	一	一一	九二・三一	不詳
二〇	同	二四	〇	二二	二	一〇〇・〇〇	同
二一	同	八	五	三	〇	三七・五〇	同

二二	一七	四	五	八	七六・四七	橘早生
二三	一六	一	一二	三	九三・七五	同
二四	二一	四	一七	〇	五七・一四	同
二五	三二	三二	〇	〇	〇	同

（第一一七表）

概評　以上ノ乳劑類ハ元來落葉果樹ニ於テハ主トシテ冬期ニ使用スルモノナレドモ赤蜱、ありまきノ驅除トシテ夏期モ亦使用サル。而シテ以上ノ試驗成績ニヨレバぽるく、おーそーこんせんとれーとハ殆ンド藥害ナクあでかおいる昭和二年製品等之ニ次ギ、すけーるですとろいや、すけーるさいど等ハ藥害著シク夏期ノ使用ニ適セザルベシ。

附　錄

一、縣下ニ於ケル昭和二年度梨姫心喰蟲被害程度其他

昭和二年度ニ於ケル縣下ノ梨姫心喰蟲ノ被害ニ關シ各地ノ實況ヲ調査セルニ左ノ如シ。

市郡名	町村名	被害程度並ニ前年度ニ比シ增減	增減原因	重要梨害蟲名
賀茂	稻梓	回答未着		
	朝日	程度不詳、大體ニ於テ減	不明	
	岩科	前年度ニ比シ增減ナシ		
田方	三島	甲地一割五分、乙地九割五分、三倍ノ害	八月下旬以後驅除ヲ怠リシタメ及ビ富士郡地方ヨリ被害果ヲ搬入スルニヨル	象鼻蟲、なしきじらみ なしまだらめいが、葉捲蟲、ありまき類、なしひめしんくひ、介殼蟲類
	中郷	回答未着		
	韮山	同右		
	北狩野			
駿東	片濱			
富士	元吉原	平均四割位、稍々減	主トシテ藥劑撒布ニヨル	介殼蟲、なしまだらめいが、赤蜱
	吉永	三割七分、一割內外增	旱天ノ打續キシタメ繁殖セルト防除法不完全	なしまだらめいが、ありまき、ぐんばいむし、なしきじらみ
	鷹岡	約一割、殆ンドナシ	前年多カリシモノハ藥劑撒布ニヨリ被害減少セルモ前年少ナキハ反ツテ多シ	加島村ニ準ズ

須津	前年ニ比シ稍減	砒酸鉛、硫酸にこちん撒布、食餌誘殺法ノ普及	なしひめしんくひ、葉捲蟲、赤蜱、誘蜱、なしきじらみ
今泉			
島田	平均三割、増	藥劑撒布ノ回數少ナキト收穫ノ防除ヲ怠リシタメ	なしひめしんくひ、介殼蟲、ありまき、なしきじらみ、ぐんばいむし、なしみはばち
田子浦	約三割、四分強ノ増	漸進的増加	介殼蟲、赤蜱、なしきじらみ、なしみはばち、ありまき類、ぐんばいむし、葉捲蟲、よこばいせみ
加島	一割弱、一割三—四分減	藥劑ノ一齊撒布ニヨル	赤蜱、葉捲蟲、介殼蟲類
岩松	一割六分位、六、七分減	藥劑撒布ニヨル	赤蜱、介殼蟲類
傳法	約二割、減	砒酸鉛石灰液ノ使用並ニ摘果直後ノ被害花芽摘採	ありまき、きじらみ、ちよいきりぞうむし、なしひめしんくひ、なしまだらめいが、みのが、赤蜱
庵原			
富士川			
蒲原	一六%、三%増	被害區域ノ増加（園ニヨリ減少セル所モアリ）	なしきじらみ、なしみはばち、なしまだらめいが、ちよつきりぞうむし
袖師			
飯田	増	氣候不順、旱魃、栽培反別増加、驅除不成績	なしまだらめいが、葉捲蟲
清水	三割増	氣象的關係ニ依ル	くはかひがらむし、葉捲蟲、なしまだらめいが、いらが
安倍			
有東	一割五分位、増	被害果搬入、防除ノ智識ノ乏シキタメ	
豐田	二—六割、二割増	氣候ノ關係	なしまだらめいが、いらが
大里			
長田	一般ニ減少	防除ニ熱心ナルタメ	葉捲蟲
賤機	少シ		かめのこらうむし其他介殼蟲類、ありまき、
安東			なしまだらめいが

志太			
藤枝			
廣幡			
青島	局部的ニ發生甲地五割、乙地一—二割	驅除ヲ行ヒタル所ハ少シ	なしきじらみ、葉捲蟲、なしみごりおほありまき、介殼蟲、ぐんばいむし
大洲	一部ニ發生ヲ認ムルノミ		なしまだらめいが、葉捲蟲、介殼蟲、かわむぐりが
高洲			
豐田	少シク増		なしひめしんくひ、なしまだらめいが、介殼蟲類、りんごしろはまき、ありまき、ぐんばいむし
大富	未ダ發生ヲ認メズ		なしまだらめいが、葉捲蟲、ありまき、ぐんばいむし、なしじらみ
靜濱			
相川	發生ヲ認メズ		ももひめしんくひ、なしまだらめいが
吉永	極メテ少數發生ス	藥劑撒布、心折摘採	
和田			
小川	近年發生		なしひめしんくひ、葉捲蟲
西益津			
榛原			
地頭方	毎年増加		なしひめしんくひ
吉田	極メテ少數		なしまるかひがらむし、あかまるかひがら、あかだに、なしみごりおほありまき、葉捲蟲、なしまだらめいが、ぐんばいむし
初倉	未ダ發生ヲ認メズ		赤蜱、ちよつきりぞうむし
五和			

小笠	池新田	減
周智	園田	
磐田	三川	三割、三倍ノ増
濱名	北濱	
引佐	小野口	三八%、一〇%増
	豊西	
	曳馬	
	氣賀	二割五分、五分減
	中川	甚大、増
	都田	

藥劑ノ効	ありまきノ一種
氣候ノ關係	なしひめしんくひ、なしまだらめいが、なしきごらみ、介殼蟲、ありまき
管理不行屆、價格下落ノタメ藥劑撒布不定	なしひめしんくひ、ちょつきりぞうむし、赤蜱、かはむぐり
藥劑撒布ニヨル	ありまきノ一種、なしまだらめいが、葉捲蟲、なしわたむし
大正三年以來旱魃ニテ樹勢衰弱セルタメ	ありまき、ちょつきりぞうむし、なしみはばち、はむしノ一種

二、氣象署表

氣象ニツキ本年度當所ニテ觀測セル結果左ノ如シ。

月別		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	一〇月	一一月	一二月	全年
午前十時現象 氣溫	平均	六、九	六、一	九、六	一七、四	二〇、二	二三、〇	二七、五	三〇、〇	二四、六	一九、八	一五、六	缺	二八、三
	比較	低一、六	低二、八	低二、〇	高〇、八	〇、〇	低〇、三	高〇、九	高一、五	低〇、九	低〇、九	低〇、三	—	低〇、五
	最多風向	西	北	東	南東	南	南	南	南	南	北	北	北	南
	疾風以上	〇	〇	一	一	三	〇	〇	〇	〇	〇	一	三	八
天氣日數	快晴	一八	一五	八	三	四	五	一	六	一	五	一	九	八七
	晴	四	一	五	一一	一三	七	一三	一五	八	九	一一	一一	一〇八
	曇	七	九	一〇	一一	一〇	一三	一六	九	一四	一三	六	九	一二七
	雨雪	二	三	六	二	四	五	二	一	七	四	二	二	四〇
雲量 平均		三、七	四、五	五、九	六、一二	六、五	六、八	七、五	六、〇三	七、六	六、九	四、八	五、一	六、〇二
最高氣溫 平均		二、二	九、八	一三、四	二〇、一	二七、四	二五、二	二〇、三	一三、一	二三、六	二三、三	二九、三	缺	二一、五
最高氣溫 高極日		二九、〇	一五、一	二〇、〇	二五、〇	二七、五	三〇、〇	三四、〇	三三、五	三一、五	三五、九	三五、五	缺	三四、〇
最低氣溫 平均		一五	一〇、七	三一	一八	一五	一七	一七	二六・二二	一一	一一	二	缺	七月一七
最低氣溫 低極日		〇、二	一六、〇	二、九	九、三	二、一	二、五	二、一	二、七	一八、四	一三、〇	七、三	缺	二、一
		一七、〇	一七、〇	一一、〇	五、五	一三、五	一三、五	二、一、三	一九、八	一三、〇	八、八	一、五	缺	一七、〇
		二四	九	一	六	一三	一三	一五	一九	二三	一五	二三	缺	一八、二三
降水	總計	七、八	八、一四	三七、五	一三〇、七	三三、二	九〇、六	六、八	八七、二	四五、一〇	一四一、一	七六、六	四五、一	二九、八
	平年比較	少二、三	少一五、二	多三〇、四	少七六、〇	多一四六、〇	少一四六、六	少一三、七	少七〇、六	多一四一、一	一七八、三	少三八、六	少五三、〇	二二、〇
	日量最多日數	三八、五	二五	二〇、〇	三三、〇	四五、七	二五、二	二六、七	五四、四	一七八、三	二九、八	二五、五	三七、二	二七、八
		二五	六	二七	一四	二五	六	五	二九	八	四	三	八	二九、八
諸現象類別日數	雪	六	二	一	九	六	九	一〇	八	一七	九	六	一三	二二
	霰	一	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	四
	雹	〇	〇	〇	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二	〇	三
	霧	〇	〇	〇	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	三
	霜	二四	〇	七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	五	三	四
	雷電	〇	〇	〇	一八	一	一	一	四	一	一	〇	〇	一九

摘要

種目	初終日	初日	終日	初終日數	本年初日
最低氣溫氷點以下	昭和元年十二月四日	昭和二年三月十三日	百十四日		昭和二年十二月九日
霜	同	同	同		

雪	同 二年一月廿三日	同 二月廿二日	三十日	同 二月十五日
最低氣温ノ引續キテ氷點以下ニ有シ最多日數	自昭和二年一月十九日至二月三日			十六日間
最高氣温ノ引續キテ三十度以上ニ有シ最多日數	自昭和二年八月四日至九月四日			三十二日間
降霜ノ引續キテ有シ最多日數	自昭和二年一月十九日至二月四日			十六日間
最高氣温三十度以上ニ有シ日數	五十七日			
最高氣温三十度ニ達セシ初日	七月九日ヨリ九月十四日			六十七日間
毎月氣温較差ノ最大	十二月二十三日ニ於テ一七度四			
雨雪ノ引續キテ五日以上降リシ日數	自六月三十日至七月七日			八日間
	自九月二十六日至十月二日			七日間
雨雪ノ引續キテ十日以上降ラザリシ日數	自前十二月十七日至一月五日			二十日間
	自一月十九日至二月四日			十七日間
	自五月二十五日至六月三日			十日間

昭和四年三月二十日印刷
昭和四年三月廿五日發行

靜岡縣立農事試驗場
靜岡市曲金

印刷人 馬場恒三
靜岡市横内町六十三番地

印刷所 馬場印刷所
靜岡市横内町六十三番地
電話【一、三三九番】

14.2
1
596
1

終